EPSON

マルチメディア・プロジェクター

MULTIMEDIA PROJECTOR

ELP-7700

取扱説明書

お買い上げいただきまして、ありがとうございます。

保証書別添

お使いになる前に

安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。
読んだ後は、不明な点をいつでも解決できるように、すぐに取り出して見れる場所に、保証書とともに大切に保存してください。

同梱品の確認

プロジェクターと付属品を箱から取り出し、次のものが同梱されていることを確認してください。万一、不足しているものがあった場合、お手数ですがお買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 特長

● くっきり鮮やかな画面

明るさを大幅にアップしました。
明るいところでも、くっきり鮮やかに投写でき、プレゼンテーションに最適です。

● 幅広い表示解像度

高精細液晶パネルを採用。
（1024×768）

● 小型で軽量

コンパクトボディーで持ち運びが簡単にできます。
（約6.9Kg、15.2リットル）

● デジタル出力に対応した DVI-D 端子 *

デジタル入力用の DVI-D 端子を装備しました。コンピュータのデジタル出力端子と接続できます。

■ 目次

■ 本書の見かた

絵表示について

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよくご理解の上で本文をお読みください。

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

ポイント............説明の追加、覚えていると便利な内容を記載しています。
参照....................参照ページを示しています。
*..........................用語解説を参照してください。

※ 「本機」または「本プロジェクター」という表記について
本書の中に出てくる「本機」または「本プロジェクター」という表記には、プロジェクター本体のほかに付属品や別売品も含まれる場合があります。

※ イラストおよびスクリーンサイズと投写距離は、標準レンズを使用したものになっています。

■ 安全上のご注意

本機を安全に正しく使用していただくために、この「安全上のご注意」をよくお読みください。

⚠警告

● **次のような異常のときは、すぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店、またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。**

- 煙が出ている、変な臭い、変な音がする。
- 本機内部に水や異物が入った。
- 本機を落としたり、ケースを破損した。

そのまま使用を続けると、火災・感電の原因となります。
お客様による修理は危険ですから絶対にしないでください。

● **サービスマン以外の方は、本機のケースを開けたりしないでください。また、本機の分解・改造は、絶対にしないでください。**
内部には電圧の高い部分が数多くあり、火災・感電・事故の原因となります。

● **表示されている電源電圧以外は使用しないでください。**
指定以外の電圧を使うと、火災・感電の原因となります。

● **電源ケーブルは、仕様を確認してください。**
電源ケーブルは、販売国の電源仕様に基づき同梱されています。販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧やコンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルをお買い求めください。
適切な電源ケーブルを使用しないと、火災・感電の原因となります。

● **破損した電源ケーブルは、使用しないでください。**
火災・感電の原因となります。
また、取り扱いの際は、次の点を守ってください。

- 電源ケーブルを加工しない。
- 電源ケーブルの上に重いものを乗せない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電熱器の近くに配線しない。

電源ケーブルが破損したら、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。

● **電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。**
強い光で、視力障害などの原因となります。小さなお子様のいるご家庭では特に注意してください。

⚠警告

● **電源プラグ･電源コネクタの取り扱いには注意してください。**
取り扱いを誤ると、火災･感電の原因となります。
取り扱いの際には、つぎの点を守ってください。

- たこ足配線はしない。
- 電源プラグ･電源コネクタはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
- 電源プラグ･電源コネクタは根元まで確実に差し込む。
- 濡れた手で電源プラグ･電源コネクタの抜き差しをしない。
- 電源プラグ･電源コネクタを抜くときは、電源ケーブルを引っ張らない。必ず、プラグやコネクタ本体を持って抜く。

● **本機の光源には、内部圧力の高い水銀ランプを使用しています。水銀ランプは、大きな音を伴って破裂することがあります。次のことを守って安全にお使いください。**
以下の点を守らないと、けがや中毒を起こす原因となります。

- ランプに衝撃や傷を与えないでください。
- ランプ交換時期を超えて使用しないでください。交換時期を超えると、破裂する可能性が一段と高まります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 水銀ランプ内部のガスには水銀が含まれています。ランプが破裂した際は、破裂時に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入れないようにご注意されるとともに、すみやかに部屋の換気を行ってください。
- ランプが破裂した際に生じたガスを吸い込んだり、目や口に入れないようにするために、本機を使用中は、絶対に本機に顔を近づけないでください。
- ランプが破裂し、新しいランプを交換する場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに交換を依頼してください。ランプが破裂した後は、本機内部にガラス破片が散乱している可能性があります。
- 天吊りで使用している場合は、ランプカバーを開ける際に細かいガラス破片が落ちてくる可能性があります。やむを得ずご自身で清掃やランプ交換をする場合は、破片でけがをしないように、また目や口に入らないように十分に注意してください。

万一、ランプ破裂時にガスを吸い込んだり、目や口にガスやガラス破片が入った、あるいは具合が悪くなった場合は、直ちに医師の診察を受けてください。

● **本機の上に花瓶･水の入った容器･薬品などを置かないでください。**
こぼれたり、中に入ったりした場合、火災･感電の原因となります。

● **本機の吸気口･排気口から、金属類･燃えやすい物･異物などを差し込んだり、落としたりしないでください。**
火災･感電の原因となります。

● **本機または電池の入ったリモコンを、窓を閉め切った自動車の中や、直射日光が当たる場所、エアコン･ヒーターの吹き出し口など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。**
熱による変形や、本機内部の部品に悪影響を与え、火災の原因となることがあります。

⚠警告

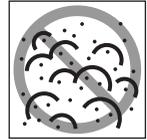
● **本機の排気口をのぞき込んだりしないでください。**
万一、ランプが割れた際には、破片でけがなどをすることがあります。

⚠注意

● **本機の上に乗ったり、重いものを置かないでください。**
倒れたり、壊れたりして、けがの原因となることがあります。

● **ぐらついた台の上・傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。**
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

● **小さなお子様の手の届くところには、設置・保管しないでください。**
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となることがあります。

● **湿気やホコリの多い場所・調理台や加湿器のそばなど、油煙・湯気が当たるような場所に置かないでください。**
火災・感電の原因となることがあります。

● **本機の吸気口・排気口をふさがないでください。吸気口・排気口をふさぐと、内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。次のような場所には設置しないでください。**
- 押し入れ・本箱の中など、風通しの悪い狭いところ。
- じゅうたん・布団・毛布などの上。
- 毛布・カーテン・テーブルクロスのような布をかけない。

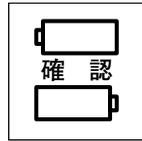
また、壁際に設置する場合は、壁から20cm以上の隙間を開けてください。

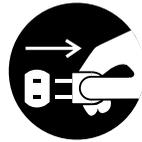
● **本機をご使用にならないときは、安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。**
火災の原因となることがあります。

⚠注意

- **本機を移動させる場合は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜き、すべての配線をはずしたことを確認してから行ってください。**
火災・感電の原因となることがあります。

- **使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。電源を切ってから約60分間経過して、ランプが十分冷えてから行ってください。**
熱で、やけど・けがの原因となることがあります。

- **乾電池の使い方を誤ると、電池の破裂・液もれにより、火災・けが・製品が腐食する原因となることがあります。次のことを守り、安全にお使いください。**
  - 種類の違う電池・新しい電池と古い電池を混ぜて使用しない。
  - 取扱説明書指定の電池以外は使用しない。
  - 電池から液がもれた場合は、もれた液を布などで拭き取り、新しい電池と交換する。
  - 交換時期がきたら、電池をすぐに取り出す。
  - 長期間使用しないときは、電池を取り出す。
  - 電池は加熱したり、火や水の中に投げ込まない。
  - 極性(＋、－)を正しく入れる。
  - もれた液が手などに付着した場合は、すぐに水で洗い流す。

乾電池を廃棄するときは、その地域の回収ルートに従ってください。

- **お手入れの際には、電源プラグ・電源コネクタをコンセントから抜いて行ってください。**
感電の原因となることがあります。

使用上のご注意

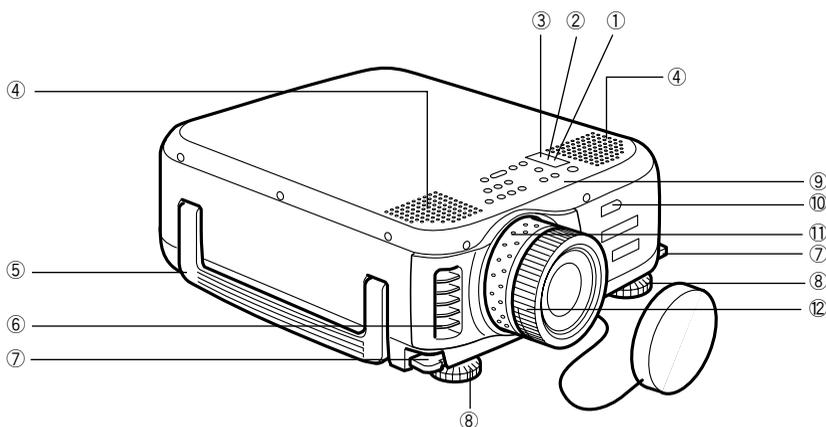
- **使用温度範囲(+5 ℃～ +40 ℃)以外の環境では、表示が不安定になったり、ファンに負担がかかり、故障の原因となることがあります。**
- **保存温度範囲(-10℃～+60℃)以外の環境では、故障したり、ケースが変形することがあります。特に直射日光が当たる場所には長時間放置しないでください。**
- **レンズカバーを取り付けたままで投写しないでください。熱でレンズカバーが変形することがあります。**
- **液晶パネルは非常に精密度の高い技術で作られており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯する画素がありますのであらかじめご了承ください。**
- **油煙やたばこなどの煙が当たる場所で使用・保管しないでください。投写映像の品質が劣化することがあります。**
- **本機の光源に使用している水銀ランプは、衝撃や傷、使用時間の経過による劣化などで、大きな音を伴って破裂したり、不点灯状態になったりして、寿命にいたります。このとき、ランプの個体差や使用条件によって破裂や不点灯にいたるまでの時間に、かなり大きな差があります。これは、水銀ランプの特性によるものです。万一に備えて、あらかじめ交換用ランプをご用意ください。**
- **プロジェクターの故障、および不点灯により発生した損害について、定められたサービス範囲以外は免責とさせていただきます。**

ご使用になる前に

ここでは、各部の名称とリモコンの取り扱いかたなど、ご使用前に確認していただきたい内容を説明しています。

■ 各部の名前と働き

プロジェクター本体

● 前面

①オペレーションインジケータ

②ランプインジケータ

③温度インジケータ

④スピーカ

⑤ハンドル

⑥排気口

⑦フットレバー

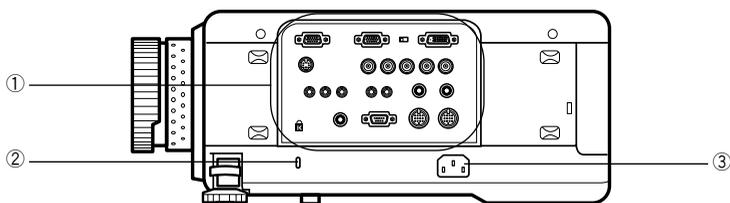
⑧フロントフット

⑨操作パネル

⑩リモコン受光部

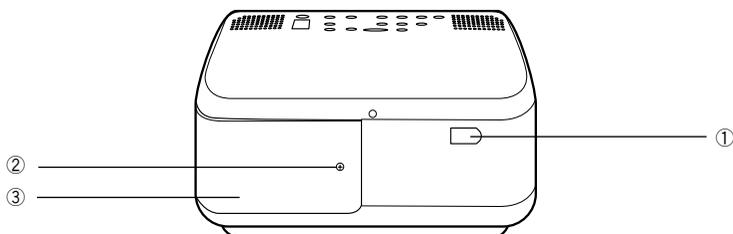
⑪ズームリング

⑫フォーカスリング

● 側面

①入出力端子

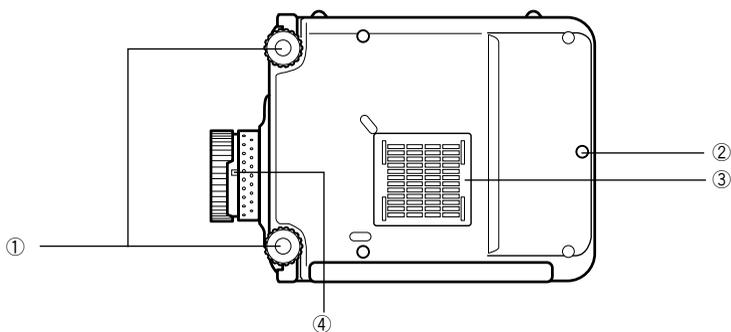
②盗難防止用ロック(参照:88ページ)

③電源端子

● 背面

①リモコン受光部

②ランプカバー固定ネジ

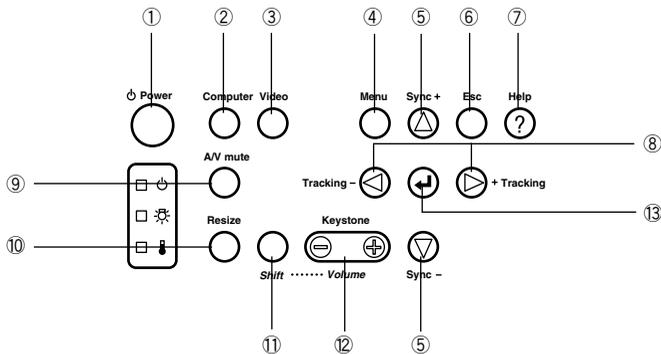
③ランプカバー

● 裏面

①フロントフット

②リアフット

③エアーフィルタ(吸気口)

④レンズ取り外し用レバー
※オプションのアタッチメントレンズに交換するとき以外は操作しないでください。

● 操作パネル

①[Power] ボタン(参照:37, 40 ページ)
電源をON/OFFします。

②[Computer] ボタン(参照:38 ページ)
Computer 1 の映像とBNC(RGB)の映像を切り替えます。

③[Video] ボタン(参照:38 ページ)
ビデオの映像(Video)、Sビデオ(S-Video)、コンポーネントビデオ(BNC(YCbCr･YPbPr))の映像を切り替えます。

④[Menu] ボタン(参照:63 ページ)
メニューを表示または終了します。

⑤[Sync]ボタン(参照:46 ページ)
画面がぼやけていたり、ちらついているときに調整します。メニューやヘルプ表示のときは、上下方向キーとして動作します。

⑥[ESC] ボタン(参照:64 ページ)
実行中の機能を終了します。メニューやヘルプ表示のときは、1つ上の階層に戻ります。

⑦[Help] ボタン(参照:48 ページ)
トラブルが起こったときの対処方法を表示します。困ったときに押してください。

⑧[Tracking]ボタン(参照:46 ページ)
画面に縞模様が出たときに調整します。メニューやヘルプ表示のときは、左右方向キーとして動作します。

⑨[A/V mute] ボタン(参照:50 ページ)
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すか、音量を調節またはメニューを表示すると投写を再開します。A/V ミュート時にユーザーロゴを投写するようにも設定できます。

⑩[Resize] ボタン(参照:51 ページ)
コンピュータ映像投写時は、ウィンドウ表示とリサイジング表示を切り替えます。ビデオ映像投写時はアスペクト比4:3と16:9を切り替えます。

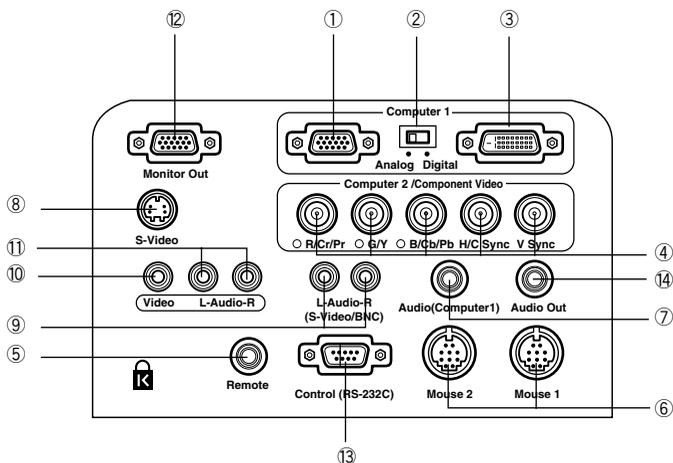
⑪[Shift]ボタン(参照:59 ページ)
[Volume(Keystone)]ボタンと同時に押すと音量を調節します。

⑫[Keystone]ボタン(参照:44 ページ)

画面が台形に歪んだときに調整します。

⑬[↵ (Enter)]ボタン(参照:45, 63 ページ)

- メニューの項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。
- メニューやヘルプが表示されていないときは、コンピュータ映像を最適化します。（入力解像度をManual に設定しているときは、Autoに切り替わります。）

● 入出力端子

① Computer1- ミニ D-Sub15 端子

コンピュータのアナログ映像信号を入力します。

②切り替えスイッチ

Computer1の有効端子をミニD-Sub15(Analog) /DVI-D(Digital)のどちらかに切り替えます。スイッチはボールペンの先などで操作します。
※信号入力前に切り替えてください。

③ Computer1-DVI-D 端子

コンピュータのデジタル映像信号を入力します。

④ Computer2/Component Video 端子

·R/Cr/Pr ·G/Y ·B/Cb/Pb ·H/C Sync ·V Sync
コンピュータのRGB信号や、A/V 機器のコンポーネント映像信号(色差信号*)、RGB映像信号を入力します。

⑤ Remote 端子

オプションのリモコンレシーバー(ELPST04)を接続します。

⑥ Mouse1/2 端子

ワイヤレスマウスとしてリモコンを使うときにコンピュータと接続します。

⑦ Audio(Computer1)端子

Computer1 端子に接続したコンピュータやA/V機器からの音声信号を入力します。ステレオミニジャックで接続します。

⑧ S-Video 端子

A/V機器のS映像信号を入力します。

⑨ L-Audio-R（S-Video/BNC）端子

BNC端子またはS-Video端子に接続したコンピュータやA/V機器からの音声信号を入力します。RCAピンジャックで接続します。

⑩ Video 端子

A/V機器のコンポジット映像信号を入力します。

⑪ L-Audio-R 端子

A/V機器からの音声信号を入力します。

⑫ Monitor Out 端子

投写しているコンピュータの映像信号を外部モニタに出力します。（DVI-D 端子やビデオ機器からの入力は出力できません。）

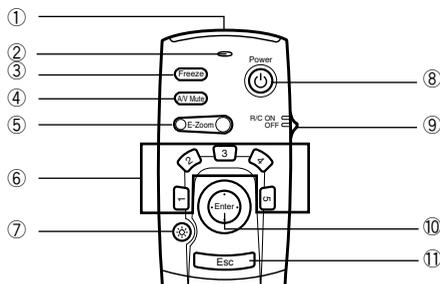
⑬ Control（RS-232C）端子

コンピュータのシリアルポートとプロジェクターのControl 端子を市販のD-Sub 9pin（シリアル）クロスケーブルで接続します。

⑭ Audio Out 端子

プロジェクターの音声信号を出力します。
※ここに、ケーブルを接続するとプロジェクター本体のスピーカから音が出なくなります。

リモコン

● 表面

①リモコン発光部
リモコン信号を出力します。

②インジケータ
リモコン信号を出力しているときに発光します。
※電池が弱くなったり、スイッチがOFFになっていると発光しません。

③[Freeze]ボタン(参照:50ページ)
映像を一時停止します。もう一度押すと解除します。

④[A/V Mute]ボタン(参照:50ページ)
映像と音声を一時的に消します。もう一度押すか、音量を調整または、メニューを表示すると投写を再開します。
A/Vミュート時にユーザーロゴを投写するようにも設定できます。

⑤[E-Zoom]ボタン(参照:53, 57ページ)
映像を拡大/縮小します。ピクチャー・イン・ピクチャー映像のときは子画面の映像を拡大します。[Esc]ボタンを押すと解除します。

⑥[Effect]ボタン(参照:54ページ)
割り当てた装飾機能を実行します。[Esc]ボタンを押すと解除します。

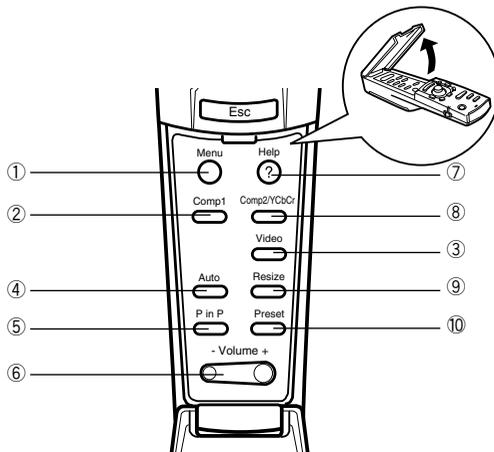
⑦[-☼- (照光)]ボタン
リモコンボタンを約10秒間イルミネーション表示します。

⑧[Power]ボタン(参照:37, 40ページ)
プロジェクター本体の電源をON/OFFします。

⑨[R/C ON OFF]スイッチ(参照:37, 41ページ)
リモコンの電源をON/OFFします。このスイッチが「ON」になっていないとリモコンで操作できません。

⑩[Enter]ボタン(参照:31, 63ページ)
- 押した場合は、メニューの項目を決定したり、1つ下の階層に進みます。上下左右に倒すと、メニューの項目を選択する上下左右方向キーとして動作します。
- コンピュータ映像を投写している場合は、マウスの左クリックとして動作します。上下左右に倒すと、ポインタが移動します。

⑪[Esc]ボタン(参照:31, 64ページ)
- 実行中の機能を終了します。メニューやヘルプ表示のときは、1つ上の階層に戻ります。
- コンピュータ映像を投写している場合は、マウスの右クリックとして動作します。

● カバー内部

①[Menu] ボタン(参照:63 ページ)

メニューを表示または終了します。

②[Comp1]ボタン(参照:38 ページ)

Computer1 端子からの映像に切り替えます。切り替えスイッチが Digital(右側)のときは、DVI-Dの映像に切り替えます。

③[Video]ボタン(参照:38 ページ)

ビデオの映像(Video)、Sビデオ(S-Video)の映像を切り替えます。

④[Auto] ボタン(参照:45 ページ)

コンピュータ映像を最適化します。

⑤[P in P]ボタン(参照:57 ページ)

コンピュータ映像またはビデオ映像の中にビデオ映像を子画面として表示します。もう一度押すと解除します。

⑥[Volume]ボタン(参照:59 ページ)

音量を調節します。

⑦[Help]ボタン(参照:48 ページ)

トラブルが起こったときの対処方法を表示します。困ったときに押してください。

⑧[Comp2/YCbCr]ボタン(参照:38 ページ)

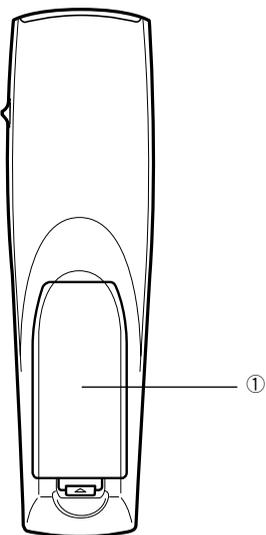
BNC端子からの映像に切り替えます。

⑨[Resize]ボタン(参照:51 ページ)

コンピュータ映像投写時は、ウィンドウ表示とリサイジング表示を切り替えます。ビデオ映像投写時はアスペクト比4:3と16:9を切り替えます。

⑩[Preset] ボタン(参照:46 ページ)

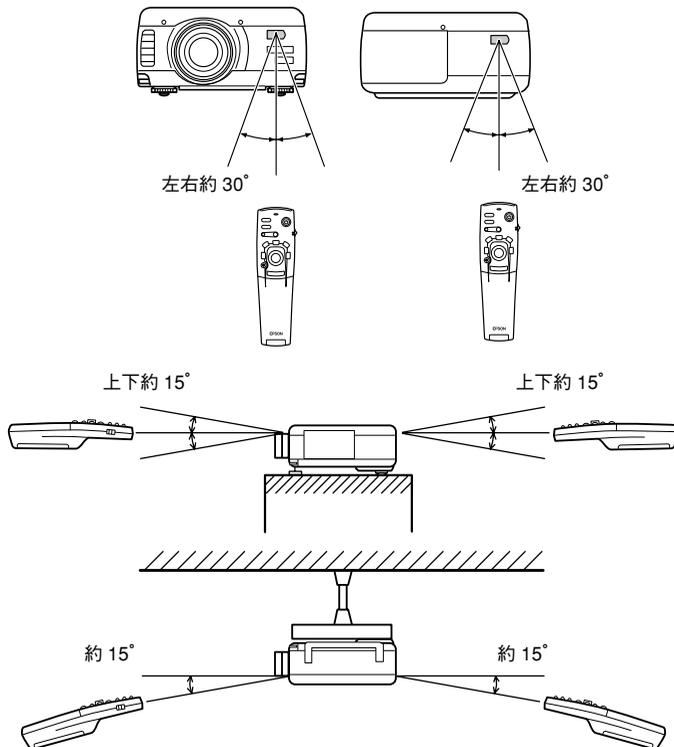
プリセットされているコンピュータ入力信号の設定を呼び出します。

● 裏面

①電池カバー

リモコンで操作できる範囲

本体受光部との距離や角度によっては、リモコンで操作できない場合があります。以下の条件で使用してください。

● 操作可能距離：約 10m

● 操作可能範囲：

Point

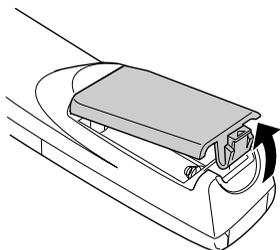
- リモコンをご使用になるときは、リモコンの R/C ON OFF スイッチを「ON」にしてください。
- リモコンはプロジェクター本体のリモコン受光部に向けてお使いください。
- リモコンをスクリーンに向け、信号を反射させてお使いのときは、スクリーンの種類により操作可能距離（約 10m）が短くなる場合があります。
- プロジェクター本体のリモコン受光部に直射日光や蛍光灯の光などが直接当たらないようにしてください。リモコンが誤動作することがあります。
- リモコンが操作できなかったり、誤動作する場合は、電池の交換時期と考えられます。新しい電池に交換してください。
- 10m 以上離れて使用する場合は、オプションのリモコンレシーバー（ELPST04）をお使いください。

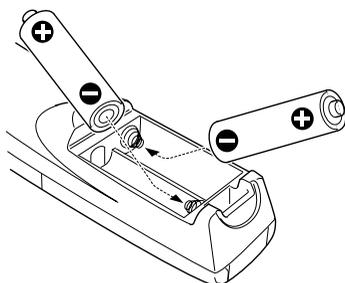
リモコンへの電池の入れかた

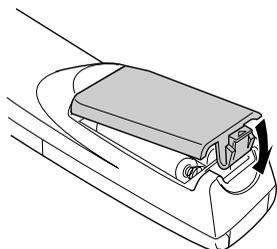
リモコンの電池は､次の手順で入れます。

⚠注意
未使用で同じ種類の電池を入れてください。

1　電池カバーを外します。

電池カバーのひっかけ部を押さえながら､上へ持ち上げます。

2　電池を入れます。

電池の向きは､必ずリモコンの(＋)(−)の表示に合わせてください。

3　電池カバーを取り付けます。

カチッと音がするまで､電池カバーのひっかけ部を押さえます。

Point

- 指定乾電池：単3マンガン乾電池(LR6)×2本
- 電池の交換時期の目安は､1日30分使用した場合で約3ヶ月後です。

設置

ここでは、プロジェクターの設置例と、投写距離および投写角度について説明しています。

■ 設置方法

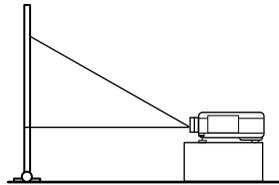
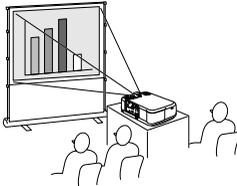
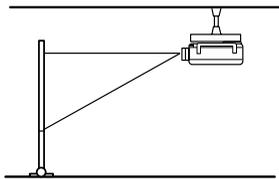
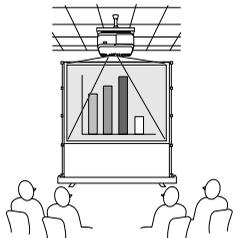
最適な画面になるように投写角度や投写距離を決めます。

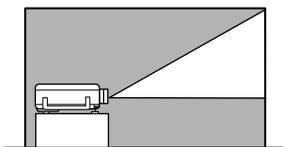
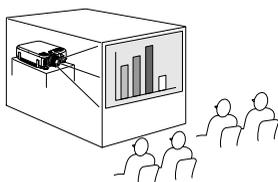
⚠ 注意

- 本体前面の排気口や本体裏側のエアーフィルタ（吸気口）をふさがないようにしてください。
- 投写中、本体裏側のエアーフィルタに、布や紙などが吸着されることがありますので、注意してください。
- 本体に、エアコンやヒーターなどの風が直接当たらないようにしてください。
- 壁際に設置するときは、壁から20cm 以上の隙間をあけてください。
- 本体の上に、毛布、カーテン、テーブルクロスなどの布をかけないでください。

設置の一例

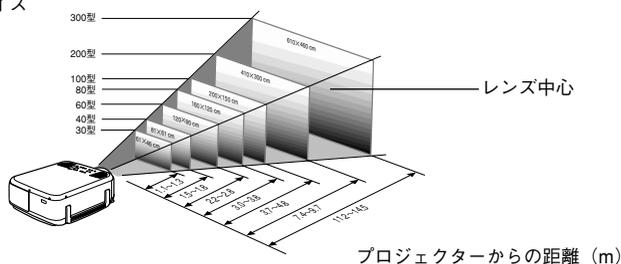
プロジェクターは設置場所の条件や投写方法に合わせて設置できます。

正面から映像を見るとき

天吊りして正面から映像を見るとき

天吊り用オプションを使用し、天吊り設定を「ON」にしてください。（参照：67 ページ）

半透過性のスクリーンで裏側から映像を見るとき

- リア設定を「ON」にしてください。(参照:67ページ)
- 天吊り用オプションで天吊りにすることもできます。

スクリーンサイズと投写距離

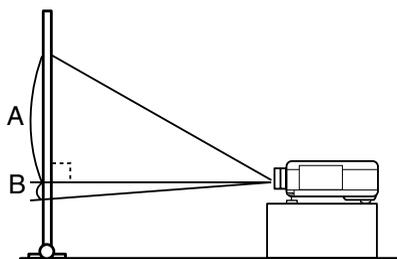
お好みの画面サイズになるように、レンズからスクリーンまでの距離を決めます。
プロジェクターの標準レンズはおよそ1.3倍ズームですので、最大拡大時は、最小時の約1.3倍のサイズで投写できます。
下の表を参考にして、画面サイズがスクリーンより小さくなるよう設置してください。

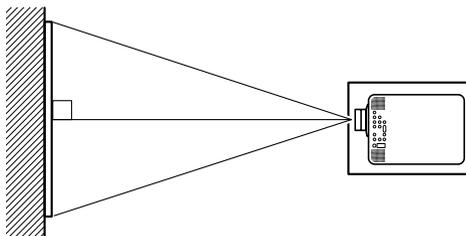
スクリーンサイズ	おおよその投写距離
30型 （ 61 × 46cm）	1.1m ～ 1.3m
40型 （ 81 × 61cm）	1.5m ～ 1.8m
60型 （120 × 90cm）	2.2m ～ 2.8m
80型 （160 ×120cm）	3.0m ～ 3.8m
100型 （200 ×150cm）	3.7m ～ 4.8m
200型 （410 ×300cm）	7.4m ～ 9.7m
300型 （610 ×460cm）	11.2m ～ 14.5m

Point

- 上記投写距離は、標準レンズ使用時の投写距離です。オプションレンズを使用する場合には、オプションレンズの取扱説明書を参照してください。
- 台形補正をすると、画面が小さくなります。

投写角度

プロジェ クターのレンズ中心がスクリーンと直角になるように設置したときに最適な画面になります。投写角度に注意して設置してください。

横から見たとき

A:B ＝19：1 になります

上または下から見たとき

Point

投写角度は、フロントフットで調整(参照:42 ページ)することもできますが、この場合、画面が台形に歪むことがあります。台形歪みは台形補正で調整してください。(参照:44 ページ)

接続

ここでは、プロジェクターをコンピュータやビデオ機器と接続する方法について説明しています。

■コンピュータとの接続

接続する前にプロジェクターとコンピュータの電源を切ってください。

接続できるコンピュータ

コンピュータによっては接続できないものや、接続できても投写できないものがあります。
初めにお使いのコンピュータが接続できるかどうか確認してください。

● 接続できるコンピュータの条件

条件 1：接続するコンピュータに映像信号の出力ポートがあること

コンピュータに、「RGB ポート」「モニタポート」「ビデオポート」などの映像信号を出力させるポートがあることを確認してください。確認できない場合は、コンピュータの取扱説明書の「外付けのモニタを接続する」などの項目で確認してください。
コンピュータとモニタが一体型のタイプやノートパソコンなどの場合は、接続できなかったり、外部出力ポートを別途購入する必要があるものがあります。

Point

コンピュータによっては、接続後にキー（ など）や設定によって映像信号の出力先を切り替える必要があります。

NEC 製	Panasonic 製	東芝製	IBM 製	SONY 製	富士通	Macintosh
Fn+F3	Fn+F3	Fn+F5	Fn+F7	Fn+F7	Fn+F10	再起動した後、コントロールパネルーモニタ＆サウンドでミラーリングの設定にする

上の表は、一部製品の一例です。詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。

条件 2：接続するコンピュータの解像度と周波数が次表の範囲内であること

コンピュータから出力される映像信号の解像度と周波数が次表に対応していない場合は投写できません。（投写できる場合もありますが、鮮明な投写ではありません。）
コンピュータの取扱説明書で映像信号の解像度と周波数を確認してください。
また、コンピュータによっては出力解像度を変更できますので、表の範囲内の設定に変更してください。

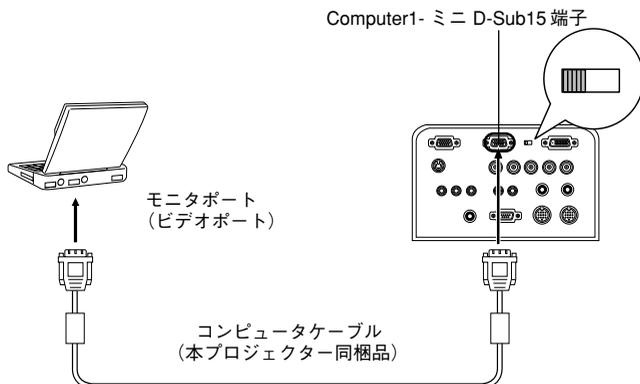
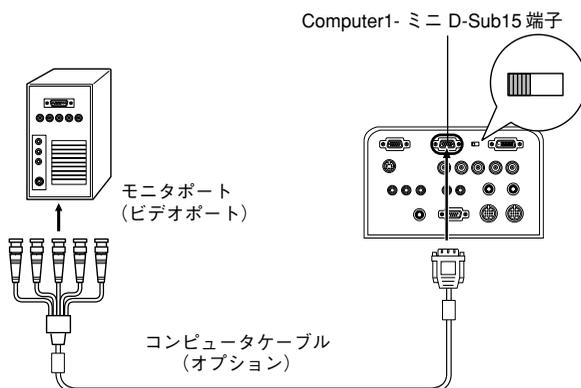
信号	リフレッシュレート（Hz）	解像度（ドット）	リサイズ表示時（リサイズ ON）使用画素数（ドット）	リアル表示時（リサイズ OFF）使用画素数（ドット）	備考
PC98		640 ×400	1024 ×640	640× 400	
VGACGA		640 ×400	1024 ×640	640× 400	
VGAEGA		640 ×350	1024 ×560	640× 350	
VGA	60	640 ×480	1024 ×768	640× 480	
VESA	72/75/85/100/120	640 ×480	1024 ×768	640× 480	
SVGA	56/60/72/75/85/100/120	800 ×600	1024 ×768	800× 600	
XGA	43i/60/70/75/85/100	1024 × 768	1024 ×768	1024 × 768	
SXGA	60/70/75/85	1152 × 864	1024 ×768	1152 × 864	仮想（部分）表示
SXGA	60/75/85	1280 × 960	1024 ×768	1280 × 960	仮想（部分）表示
SXGA	43i/60/75/85	1280 ×1024	1024 ×768	1280 × 1024	仮想（部分）表示
SXGA+		1400×1050	996×746	1400×1050	仮想（部分）表示
		1440×1080	960×768	1440×1080	
UXGA	48i/60/65/70/75/80/85	1600×1200	1024 ×768	1600×1200	仮想（部分）表示
MAC13		640 ×480	1024×768	640 ×480	
iMac VGA		640 ×480	1024×768	640 ×480	
iMac SVGA		800 ×600	1024×768	800 ×600	
MAC16		832 ×624	1024×768	832 ×624	
MAC19		1024×768	1024×768	1024×768	
iMac XGA		1024×768	1024×768	1024×768	
MAC21		1152×870	1016×768	1152×870	仮想（部分）表示
NTSC			1024×768	1024×576	4:3 ←→ 16:9 切替え可
PAL			1024×768	1024×576	4:3 ←→ 16:9 切替え可
SECAM			1024×768	1024×576	4:3 ←→ 16:9 切替え可
SDTV（480i/p）	60		1024×768（4：3）	1024×576（16：9）	4:3 ←→ 16:9 切替え可
HDTV（720P）16：9	60		1024×576	1024×576（16：9）	
HDTV（1080i）16：9	60		1024×576	1024×576（16：9）	

ミニ D-Sub 15pin の場合

⚠注意

- 接続する前にプロジェクターとコンピュータの電源を切ってください。電源が入った状態で接続すると、故障の原因になります。
- ケーブルのコネクタ形状と端子の形状を確認して接続してください。向きや形状が異なっているものを無理に押し込むと故障や機器の破損の原因になります。

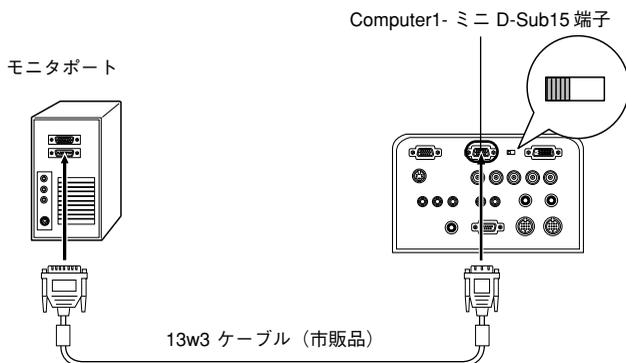
- コンピュータのモニタポートとプロジェクターの Computer1- ミニ D-Sub15 端子を同梱のコンピュータケーブルで接続します。
- 切り替えスイッチは、ボールペンの先などでAnalog側(左側)に切り替えます。

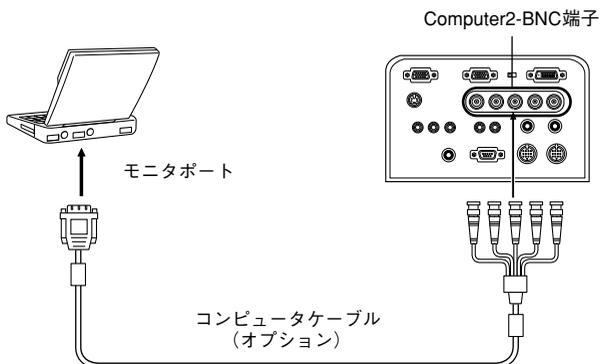
● モニタポートがミニ D-Sub15pin のとき

● モニタポートが 5BNC のとき

Point

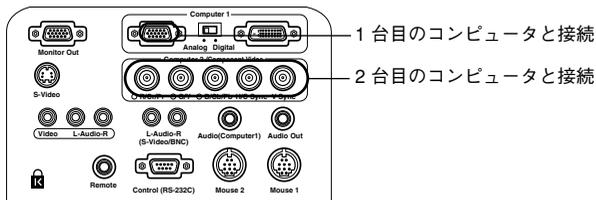
- 電源ケーブルとコンピュータケーブルは一緒に結束しないでください。映像にノイズが現れたり、誤動作の原因になります。
- コンピュータのポート形状によっては、接続の際にアダプタなどが必要になります。詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。
- コンピュータを2台接続するときは、Computer1 端子と Computer2端子のそれぞれに接続できます。

● モニタポートが 13w3 のとき

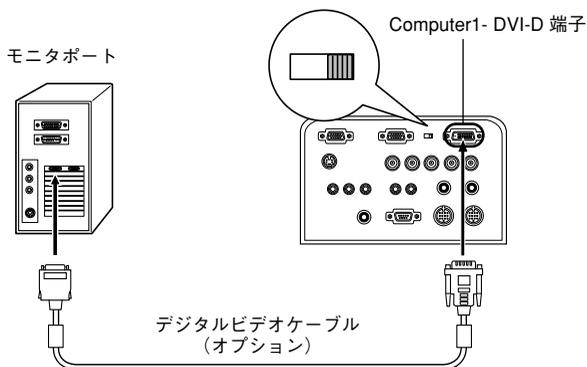
ワークステーションと接続するなど、コンピュータのモニタポートが 13w3 端子の場合でも、D-Sub15 端子への変換ケーブルを利用することでComputer1端子に接続できます。

- コンピュータのモニタポート（13w3）とプロジェクターのComputer1-ミニD-Sub15端子を13w3⇔ D-Sub15 ケーブル（市販品）で接続します。
- 切り替えスイッチは、ボールペンの先などでAnalog 側（左側）に切り替えます。

5BNC の場合

コンピュータのモニタポートとプロジェクターのComputer2 BNC端子をオプションのコンピュータケーブル(ELPKC11)で接続します。

Point

- 接続時には、メニューの BNC 設定を「RGB」にしてください。(参照:66 ページ)
- コンピュータのモニタポートが 5BNC のときは、5BNC ⇔ 5BNC ケーブル(オプション:ELPKC13)で接続します。
- コンピュータを 2 台接続するときは、Computer1 端子と Computer2 端子のそれぞれに接続できます。

DVI-D* の場合

コンピュータに液晶ディスプレイ専用のデジタルビデオカードや出力ポートが搭載されている場合は、デジタル信号をそのままプロジェクターに出力できます。

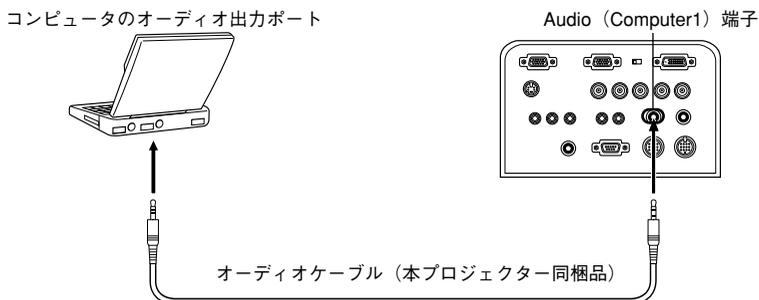
- コンピュータのデジタル出力ポートとプロジェクターのComputer1- DVI-D端子をオプションのデジタルビデオケーブル(ELPKC20/21)で接続します。接続するケーブルはコンピュータのポートの形状(DVI-D/DFP)に合わせて選んでください。
- 切り替えスイッチは、ボールペンの先などでDigital側(右側)に切り替えます。

Point

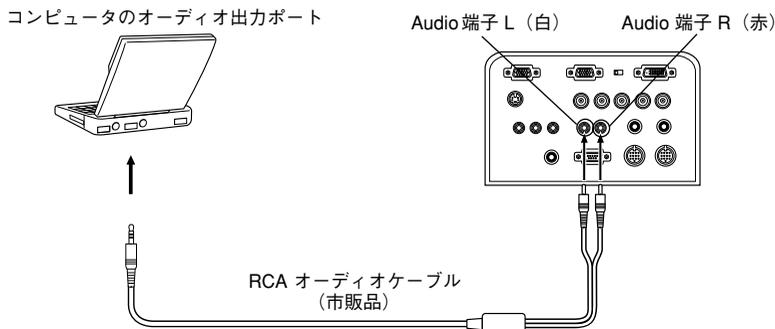
- コンピュータの出力を DVI-D に切り替えるには、コンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくは、コンピュータの取扱説明書をご覧ください、
- ミニ D-sub 15pin のコンピュータを同時に接続する場合は、ミニ D-sub 15pin のコンピュータを 5BNC に接続してください。

音声の接続

本プロジェクターには、最大3Wで出力できる2個の内蔵スピーカがついており、コンピュータの音声をプロジェクターのスピーカから出力させることもできます。

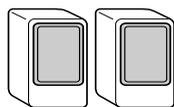
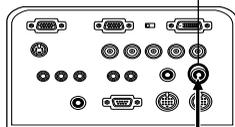
● コンピュータとComputer1で接続している場合

コンピュータのオーディオ出力ポートとプロジェクターのAudio(Computer1)端子(ステレオミニジャック)を同梱のオーディオケーブルで接続します。

● コンピュータとComputer2で接続している場合

コンピュータのオーディオ出力ポートとプロジェクターのL-Audio-R(S-Video/BNC)端子(RCAピンジャック)をRCAオーディオケーブル(市販品)で接続します。

Point

オーディオ信号は、選択されている映像の音声を出力します。

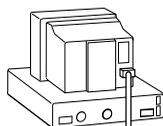
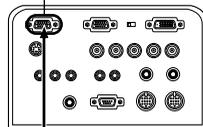
外部オーディオ機器との接続

本機のAudio Out端子とPAシステムやアクティブスピーカシステムなどのアンプ内蔵スピーカを接続すると、迫力あるサウンドが楽しめます。

市販のオーディオ接続ケーブル(ピンプラグ)⇔ 3.5mm(ステレオミニジャックプラグ)などを使用します。

Point

- Audio Out 端子へステレオミニジャックを入れると、音声は外部へ出力されます。このとき、本体のスピーカから音声は出力されません。
- 投写している映像の音声が出力されます。
- オーディオ接続ケーブルは、接続する外部オーディオ機器の接続部に合わせてご購入ください。

外部モニタとの接続

プロジェクターの投写映像をコンピュータのモニタで、同時に表示させることができます。
プロジェクターのMonitor Out端子と、コンピュータのモニタを、モニタに付いているケーブルで接続します。

Point

- Macintoshと接続するときは、オプションのMACデスクトップアダプタおよびMACモニタアダプタが必要になる場合があります。
- コンピュータを DVI-D 端子に接続している場合は、外部モニタに映像を表示させることはできません。

マウスとの接続（ワイヤレスマウス機能）

ワイヤレスマウスのように、コンピュータのマウスポインタを、リモコンで操作できるようになります。

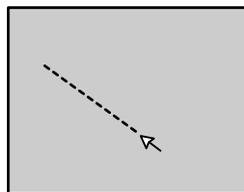
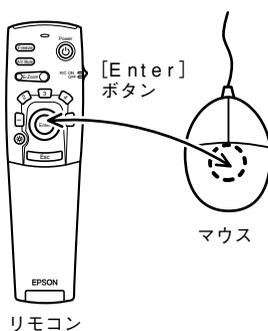
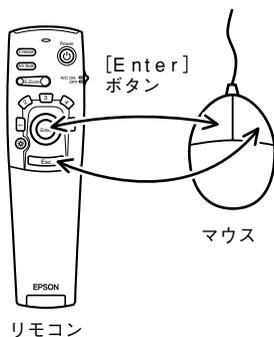
コンピュータのマウスポートとプロジェクターの Mouse1/2 端子をマウスケーブルで接続します。コンピュータをComputer1端子に接続しているときはMouse1端子に、Computer2端子に接続しているときはMouse2端子に接続します。

コンピュータ	使用しているマウスの種類	使用するマウスケーブル
PC/AT DOS/V	PS/2 マウス	PS/2 マウスケーブル（同梱品）
	USB マウス	USB マウスケーブル（同梱品）
Macintosh	USB マウス	USB マウスケーブル（同梱品）

Point

- USBマウスケーブルでの接続は、USB標準搭載モデルのみの対応です。特にWindowsの場合は、Windows98/2000 プリインストールモデルのみの対応となります。アップグレードした Windows98/2000 環境下では動作を保証いたしません。
- Mouse1/2 端子に接続したコンピュータのマウスのみ使用できます。
- マウスを使用するために、コンピュータ側の設定が必要な場合があります。詳しくはコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
- 接続する前にプロジェクターとコンピュータの電源を切ってください。
- 動作しない場合は、コンピュータの再起動が必要です。
- シリアルマウスやMacintosh 用のADB マウスと接続する場合は、販売店にご相談ください。

接続した後はマウスポインタを次のように操作できます。

左クリック .... [Enter]ボタンを押す
右クリック .... [Esc]ボタンを押す
マウスポインタの移動 .... リモコンの[Enter]ボタンを倒す

- コンピュータでマウスボタンの左右を変更した場合は、操作が逆になります。
- メニュー表示中やエフェクト、ピクチャー・イン・ピクチャー、Eズーム機能を使用しているとき、および映像サイズをリアル表示にしているときはマウス操作ができません。
- マウスポインタの移動速度を変えることができます。(参照:66 ページ)

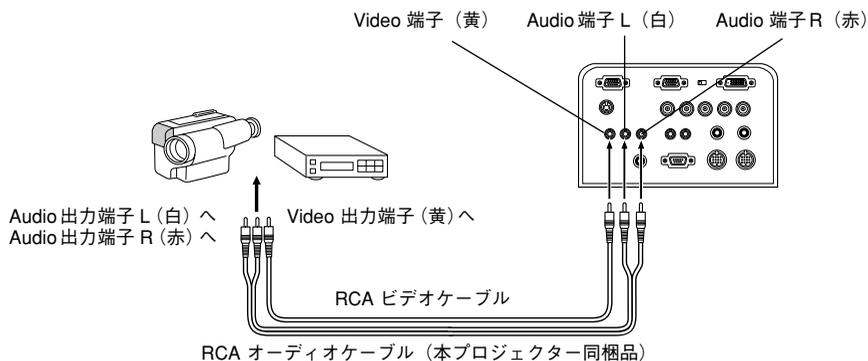
■ ビデオ機器との接続

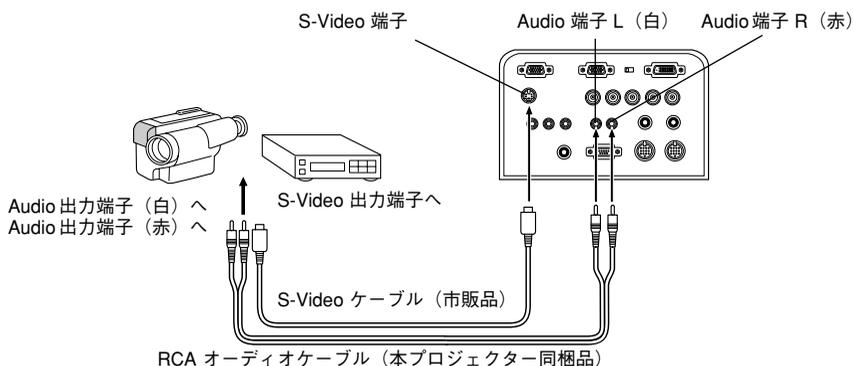
接続する前には、プロジェクターとビデオ機器の電源を切ってください。

Point

選択されている映像の音声を出力します。

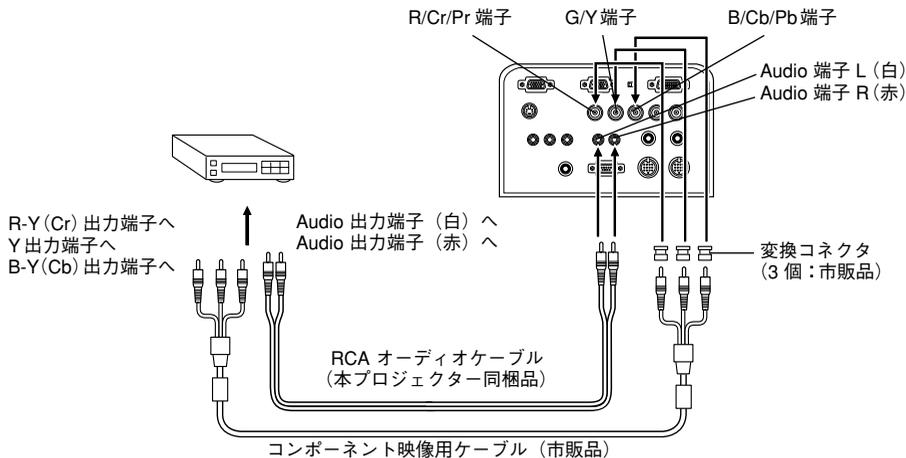
コンポジット映像信号の場合

- ビデオ機器とプロジェクターの Video 端子を同梱の RCA ビデオケーブル（黄色）で接続します。
- 音声をプロジェクターのスピーカから出力する場合は、同梱のRCAオーディオケーブル（赤/白色）でL-Audio-R（Video）端子に接続します。

S 映像信号の場合

- ビデオ機器とプロジェクターのS-Video 端子をS-Videoケーブル（市販品）で接続します。
- 音声をプロジェクターのスピーカから出力する場合は、同梱のRCAオーディオケーブル（赤/白色）でL-Audio-R（S-Video/BNC）端子に接続します。

コンポーネント(色差 *)映像信号の場合

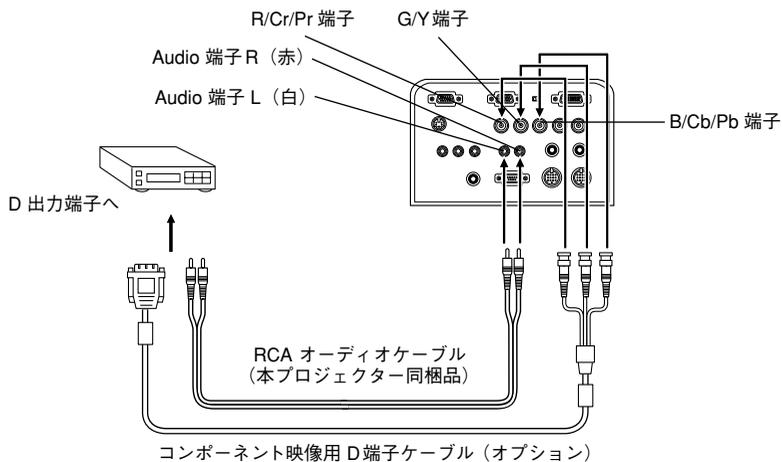
- ビデオ機器とプロジェクターのComputer2/Component Video 端子をコンポーネント映像用ケーブル(市販品)で、次表の対応になるように接続します。

ビデオ機器	R-Y (Cr)	Y	B-Y (Cb)
プロジェクター	R/Cr/Pr	G/Y	B/Cb/Pb

- 音声をプロジェクターのスピーカから出力する場合は、同梱のRCAオーディオケーブル(赤/白色)でL-Audio-R(S-Video/BNC)端子に接続します。

Point

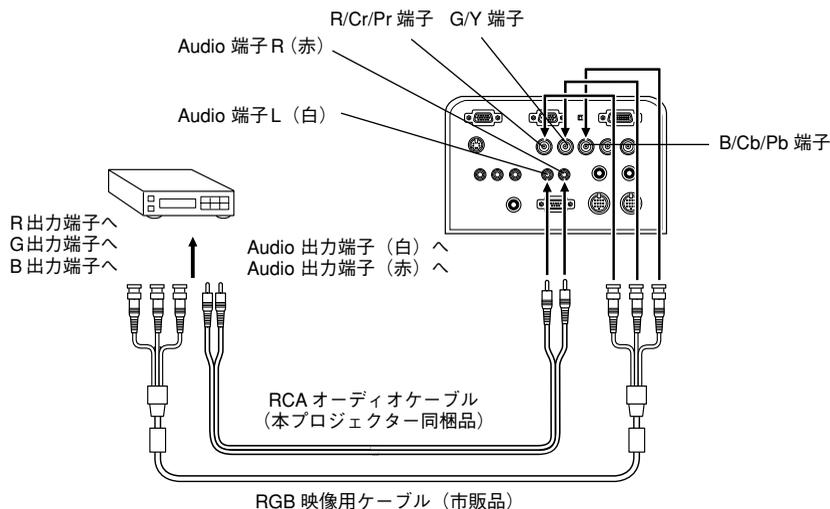
- コンポーネント映像用ケーブルを接続するときは、プロジェクター側にBNC端子への変換コネクタ(市販品)が必要です。ビデオ側は、機器の端子に合わせてください。
- 接続時には、メニューのBNC設定を入力信号の種類に合わせて「YCbCr」または「YPbPr」にしてください。(参照:66 ページ)

デジタルチューナのD出力端子* の場合

- デジタルチューナとプロジェクターのComputer2/Component Video端子をオプションのD端子ケーブル(ELPKC23)で接続します。
- 音声をプロジェクターのスピーカから出力する場合は、同梱のRCAオーディオケーブル(赤/白)でL-Audio-R(S-Video/BNC)端子を接続します。

Point

- 接続時には、メニューのBNC設定を入力信号の種類に合わせて「YCbCr」または「YPbPr」にしてください。(参照:66 ページ)
- デジタルチューナへの接続は、日本国内でのみ可能です。
- D4 規格までのデジタルチューナに対応しています。

RGB 映像信号の場合

- ビデオ機器とプロジェクターのComputer2/Component Video端子をRGB映像用ケーブル（市販品）で接続します。
- 音声をプロジェクターのスピーカから出力する場合は、同梱のRCAオーディオケーブル（赤/白色）でL-Audio-R（S-Video/BNC）端子を接続します。

Point

- RGB 映像用ケーブルは、機器の端子に合わせてご購入ください。
- 接続時には、メニューの BNC 設定を「RGB」にしてください。（参照：66 ページ）

投写する

ここでは、投写開始と終了、投写映像を調整する基本的な機能について説明しています。

■ 投写

接続後は、映像を投写します。

準備

⚠警告

- 電源投入後は、絶対にレンズをのぞかないでください。強い光により視力障害などの原因になります。
- 電源ケーブルは同梱品を使用してください。同梱品以外を使用すると、火災・感電の原因になります。

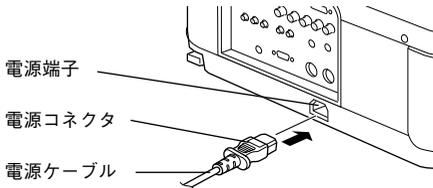
⚠注意

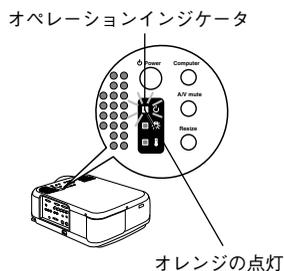
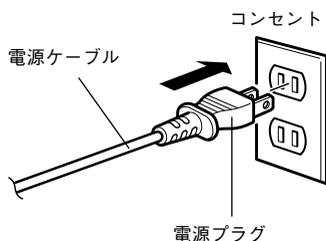
レンズカバーを取り付けたままで投写しないでください。熱でレンズカバーが変形することがあります。

1 **プロジェクターとコンピュータやビデオ機器を接続します。**(参照 :22, 32 ページ)

2 **レンズカバーをはずします。**

3 **プロジェクターに、同梱の電源ケーブルを取り付けます。**

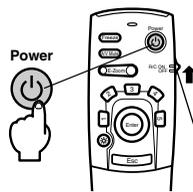
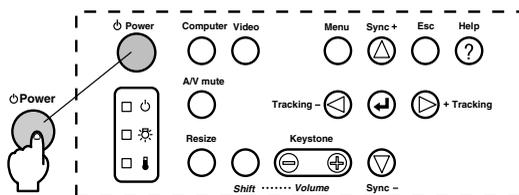
プロジェクターの電源端子と、電源コネクタの形状を確認し、向きを合わせてしっかりと奥まで差し込みます。

4 電源プラグをコンセントに差し込みます。

オペレーションインジケータがオレンジ色に点灯します。

Point

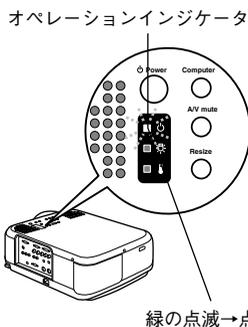
オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しているときは、ボタン操作ができません。点灯に変わるまでお待ちください。

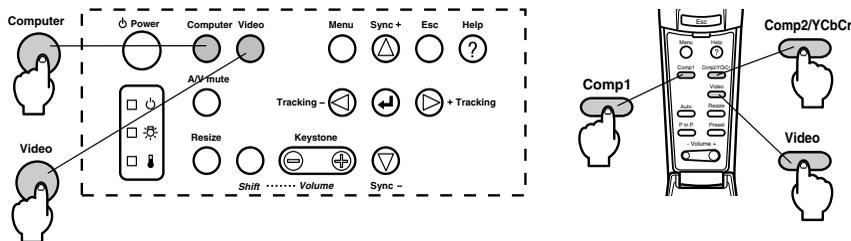
投写開始

1 [Power] ボタンを押し、電源を入れます。

オペレーションインジケータが緑の点滅に変わり、投写が始まります。

リモコン使用の場合は、先に R/C ON OFF スイッチを「ON」にします。

しばらくするとオペレーションインジケータが点滅から緑の点灯に変わります。

映像信号が入力されていないときには、「映像信号が入力されていません」と表示されます。（ノーシグナル表示設定により表示されない場合があります。(参照:66 ページ)

2 複数の機器を接続した場合は端子を選びます。

コンピュータまたはビデオ機器を接続した端子のボタンを押して入力ソースを切り替えます。

接続している端子	選択するボタン		画面右上の表示
	本体	リモコン	
Computer1 端子	[Computer] (押すごとに切り替わる)	[Comp1]	Computer1
BNC 端子 (RGB)		[Comp2/YCbCr]	BNC (RGB)
BNC 端子 (YCbCr)	[Video] (押すごとに切り替わる)		BNC (YCbCr)
BNC 端子 (YPbPr)			BNC (YPbPr)
Video 端子		[Video] (押すごとに切り替わる)	Video
S-Video 端子			S-Video

Point

- 接続機器が1台だけの場合は、ボタンを押さなくても投写されます。
- 接続されていても、入力信号が検出できないときや、接続機器の映像が出力されていないときは、入力ソースが電源を切る前の状態になります。
- 本体の[Computer]や[Video]、リモコンの[Comp2/YCbCr]で切り替えられるBNC端子のソースは、BNC設定により、BNC(RGB)、BNC(YCbCr)またはBNC(YPbPr)のどれか1つのみ表示されます。(参照:66ページ)

3 投写を開始します。

コンピュータまたはビデオ機器の電源を入れます。ビデオ機器の場合は、さらにビデオ機器の[再生]や[プレイ]ボタンを押します。

「映像信号が入力されていません」の表示が消え、映像が投写されます。

Point

- 「映像信号が入力されていません」が表示されたままの場合は、接続をもう一度確認してください。
- コンピュータによっては、接続後にキー（/など）や設定によって映像信号の出力先を切り替える必要があります。
  下の表は、一部製品の一例です。詳しくはコンピュータの取扱説明書を参照してください。

NEC 製	Panasonic 製	東芝製	IBM 製	SONY 製	富士通	Macintosh
Fn+F3	Fn+F3	Fn+F5	Fn+F7	Fn+F7	Fn+F10	再起動した後、コントロールパネル ーモニタ＆サウンドでミラーリングの設定にする

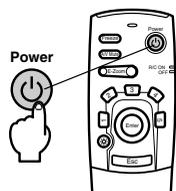
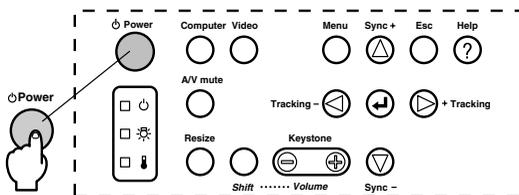
- DVD プレーヤーなどからワイドテレビ対応（16:9 の映像）の信号を入力したときは、[Resize] ボタンを押してください。ボタンを押すごとに 4:3 の映像と 16:9 の映像が切り替わります。
- 同一の静止映像を長時間投写していると、投写映像に残像が残ることがあります。

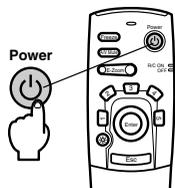
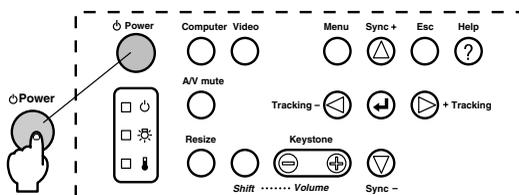
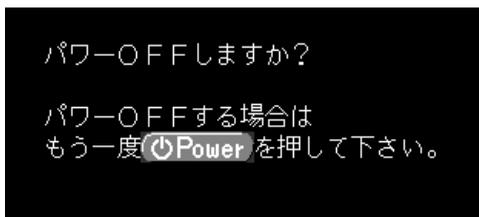
■ 終了

次の手順で終了します。

1 **接続機器の電源を OFF にします。**

2 **[Power]ボタンを押します。**

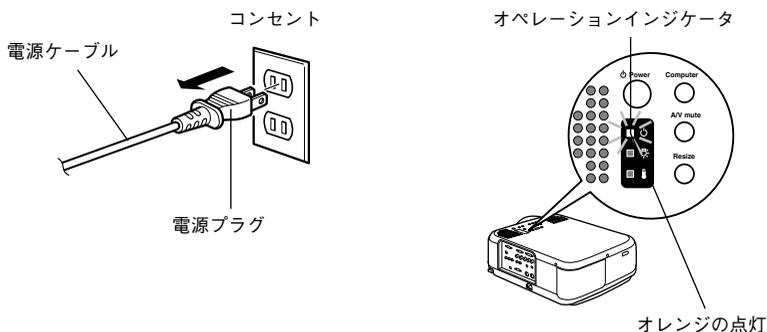
パワーOFF確認のメッセージが表示されます。

3 **もう一度[Power]ボタンを押します。**

ランプが消灯し、オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅し、クールダウンが始まります。

クールダウンが終了すると、オペレーションインジケータが点滅からオレンジ色の点灯に変わります。

クールダウンの時間は約60秒です(室温により長くなることがあります)。

Point

- 電源を切りたくないときは、他のボタンを押します。何も操作しないと、7 秒後にメッセージが消えます(電源は切れません)。
- 手順2で[Power]ボタンを1秒以上押しつづけても終了できます(手順3の操作終了状態になります)。
- オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しているときは、ボタン操作ができません。点灯に変わるまでお待ちください。

4 **クールダウンが終了した（オペレーションインジケータがオレンジ色に点灯している）ことを確認し、電源プラグをコンセントから抜きます。**

⚠注意

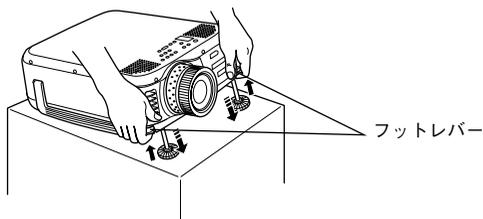
オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しているときは、電源プラグをコンセントから抜かないでください。故障の原因になったり、ランプの交換時期が早くなります。

5 **リモコンを使っていた場合は、R/C ON OFFスイッチを「OFF」にします。**

Point

リモコンの R/C ON OFF スイッチが「ON」になっていると電池が消耗します。使用しないときは R/C ON OFF スイッチを「OFF」にしてください。

6 **フロントフットが出ているときは収納します。**

本体を手で支えながらフットレバーを指で引き上げ、ゆっくり本体を下に降ろします。

7 **レンズカバーを取り付けます。**

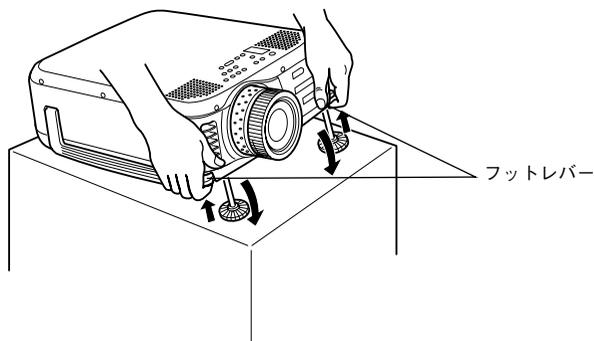
■ 投写位置の調整

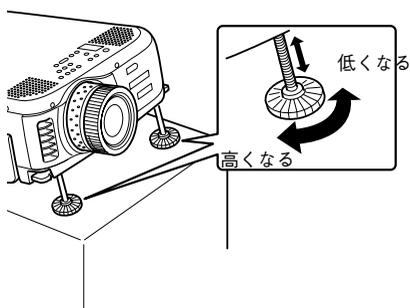
上下の投写位置を調整できます。

フット調整

プロジェクターの投写角度を調整します。

1 **フットレバーを指で引き上げながらプロジェクターの前部分を持ち上げます。**

フロントフットが出てきます。

2 **フットレバーから指を離した後、本体からも手を離します。**

3 **フロントフット下部を回して高さを微調整します。**

Point

- フット調整をすると、画面が台形に歪むことがあります。台形歪みは台形補正で調整してください。(参照:44 ページ)
- フロントフットは、フットレバーを指で引き上げながらプロジェクターを降ろして収納します。

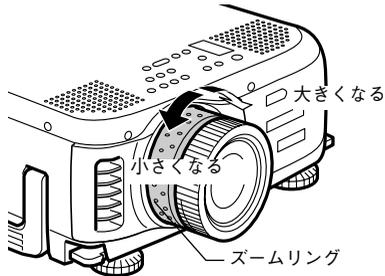
■ 投写サイズの調整

投写サイズを調整したり、台形歪みを補正できます。

Point

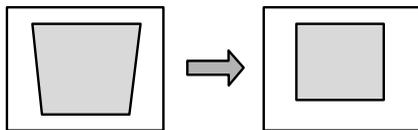
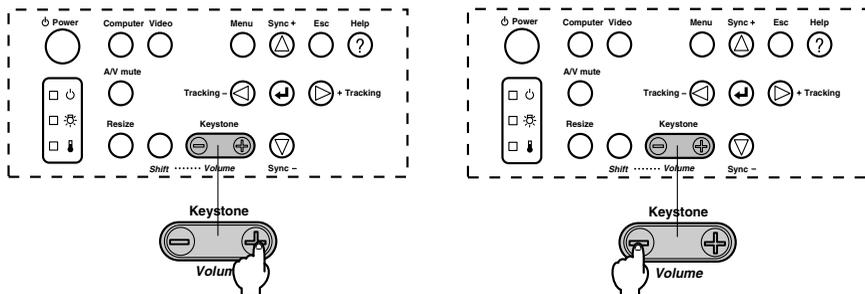
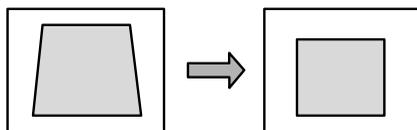
画面サイズを切り替えるリサイズ機能(参照:51 ページ)や一部分を拡大するEズーム機能(参照:53 ページ)もあります。

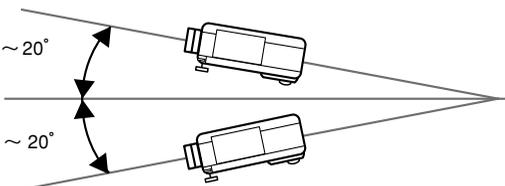
ズームの調整

1 ズームリングを回して調整します(約 1.3 倍まで拡大できます)。

さらに拡大したいときは、投写距離で調整してください。(参照:20 ページ)

台形補正

フット調整で画面が台形に歪んだ場合は補正します。

1　［Keystone ＋、－］ボタンを押し、画面を長方形にします。

補正され画面が小さくなる　　補正され画面が小さくなる

本体の傾斜角度が、上下方向に最大で30゜～20゜の範囲内であれば、台形補正で調整（64段階）できます。

傾斜角度の最大値は、ズームの調整による投写サイズにより次のように異なります。

Point

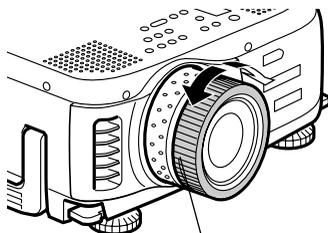
- 台形補正をすると画面が小さくなります。
- 台形補正の状態は記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置状態にあうように再調整してください。
- 台形補正でムラが目立つ場合は、シャープネスを下げてください。(参照:65 ページ)
- 台形補正はメニューでも調整できます。(参照:66 ページ)

■ 画質の調整

映像のピントや乱れを調整します。

フォーカス調整

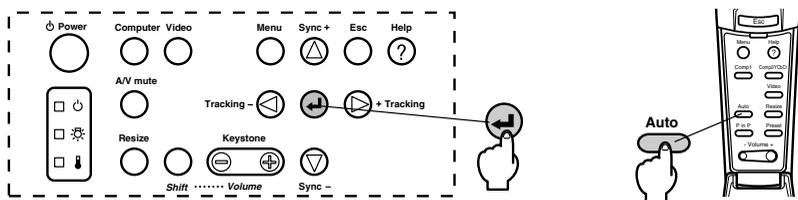
映像のフォーカス（ピント）を合わせます。

1 **フォーカスリングを回して調整します。**

Point

- レンズが汚れているときや結露して曇っているときはピントが合いません。汚れや曇りを取り除いてください。（参照：80 ページ）
- 設置距離が 1.1 ～ 14.5m からはずれると、うまく調整できません。設置距離を確認してください。（参照：20 ページ）

オート調整（コンピュータ映像投写時）

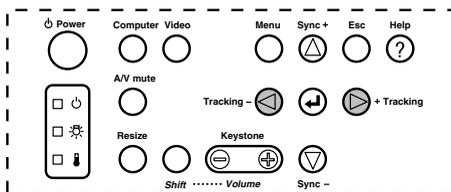
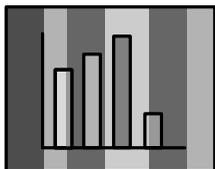
コンピュータの映像を自動的に最適な状態に調整します。調整されるのは、トラッキング、表示位置、同期の３項目です。

1 **本体の［↵ Enter］（リモコンの場合は［Auto］）ボタンを押します。**

Point

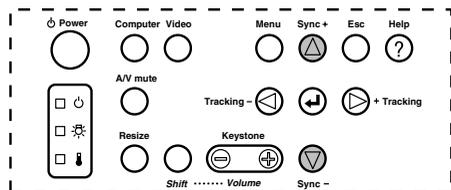
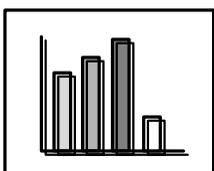
- E ズームや A/V ミュート、ピクチャー・イン・ピクチャーを実行しているときにオート調整をすると、実行している機能を解除してから調整します。
- コンピュータが出力している信号の種類によっては、うまく調整できない場合があります。そのような場合は、それぞれトラッキングと同期を調整してください。（参照：46 ページ）

トラッキング調整（コンピュータ映像投写時）

コンピュータの映像に縦の縞模様が出る場合に調整します。

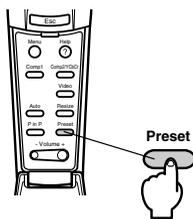
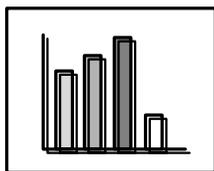
1 本体の［Tracking +、−］ボタンを押します。

同期調整（コンピュータ映像投写時）

コンピュータの映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出る場合に調整します。

1 本体の［Sync +、−］ボタンを押します。

調整値呼び出し（コンピュータ映像投写時）

調整値をプリセットとして記憶しておき、必要なときに呼び出すことができます。

1 リモコンの［Preset］ボタンを押します。

押すごとにPreset1 〜5 のうち登録してある番号が順に切り替わります。

Point

- ちらつき、ぼやけを調整した後でコンピュータの出力値（解像度や表示色）などを変更した場合は、再度調整が必要になることがあります。
- ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト*の調整で発生することもあります。
- トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。
- ビデオ映像投写時など、コンピュータからの映像信号が入っていない状態では、オート調整、トラッキング調整、同期調整はできません。
- プリセットはあらかじめ登録が必要です。(参照:65 ページ)

■ 機能の紹介

投写時にボタンで操作できる機能には、次表のものがあります。

機能	概要	ボタン		参照ページ
		本体	リモコン	
ヘルプ	トラブル発生時の解決方法を表示します。	Help	Help	48
A/V ミュート	映像と音声を一時的に消します。	A/V mute	A/V Mute	50
フリーズ	映像を停止します。	―	Freeze	50
リサイズ	映像のサイズを切り替えます。	Resize	Resize	51
E ズーム	映像を拡大します。	―	E-Zoom	53
エフェクト	映像に装飾を付けます。	―	[1] - [5] (Effect)	54
ピクチャー・イン・ピクチャー	映像に子画面を付けます。	―	P in P	57
プリセット	記憶した調整値を呼び出します。	―	Preset	46
台形補正	台形歪みを補正します。	Keystone	―	44
オート調整	映像を自動的に最適な状態に調整します。	↵ (Enter)	Auto	45
トラッキング	縦の縞模様を調整します。	Tracking	―	46
同期	ちらつきやぼやけ、横ノイズを調整します。	Sync	―	46
音量	音量を調整します。	Shift ＋ Volume	Volume	59
メニュー	メニューを表示します。	Menu	Menu	63

便利な機能

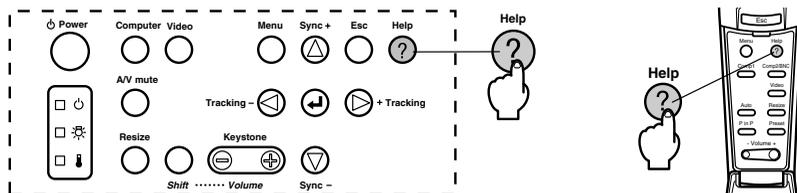
ここでは、プレゼンテーションなどに有効な便利な機能について説明しています。

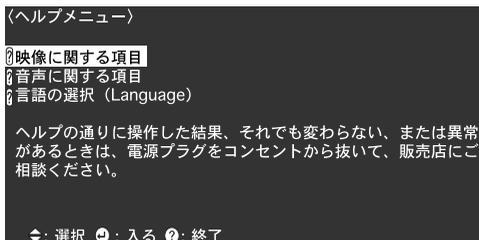
■ 便利な機能

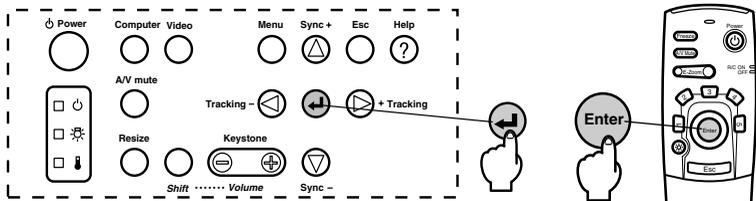
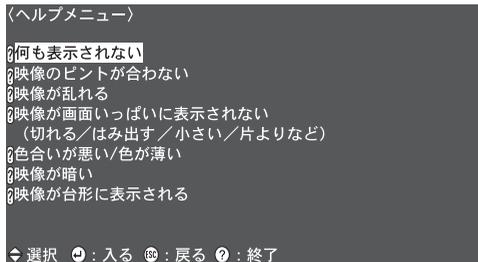
ヘルプ機能

トラブル発生時の解決方法を項目別に表示します。困ったときにお使いください。

1 ［Help］ボタンを押します。

ヘルプメニューが表示されます。

2 項目を選択します。

本体の［Sync＋、ー］ボタンを押して（リモコンの場合は［Enter］ボタンを上下に倒して）項目を選択します。

3 **項目を決定します。**

本体の[↵ (Enter)](リモコンの場合は[Enter])ボタンを押して項目を決定します。

4 **手順2、3の操作と同様にさらに詳細な項目を選択・決定します。**

Point

- ヘルプ機能を使っても分からないときは、本書の「困ったときに」を参照してください。(参照:70 ページ)
- ヘルプメニューは、[Help]ボタンを押すと解除されます。

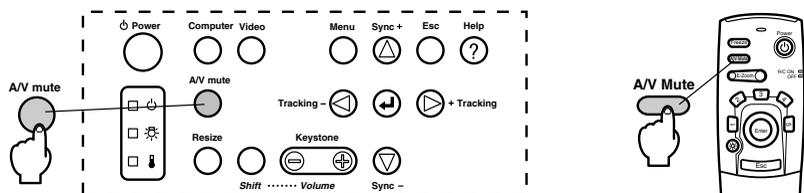
■ 投写の中断

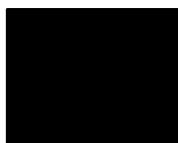
映像や音声を一時的に消したり停止させたりできます。

A/V ミュート機能

映像と音声を一時的に消します。

1 **[A/V Mute] ボタンを押します。**

映像と音声が消えます。

再度[A/V Mute]ボタンを押すか、音量を調整または、メニューを表示すると投写を再開します。

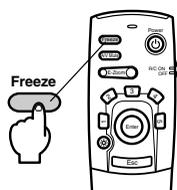
映像と音声を一時的に消したときの状態は設定により、次の3種類の中から選択できます。(参照:66ページ)

(初期設定)

> **Point**
> ユーザーロゴには、EPSON ロゴが登録してあります。ユーザーロゴを変更する場合は、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。(参照:67 ページ)

フリーズ機能

映像の動きを一時的に停止します。ただし、音は停止しません。

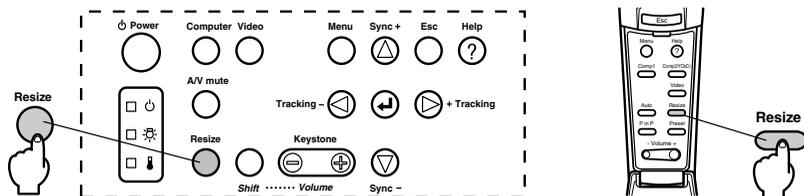
1 **[Freeze] ボタンを押します。**

映像が停止します。

再度[Freeze]ボタンを押すと解除されます。

■ 映像サイズの切り替え

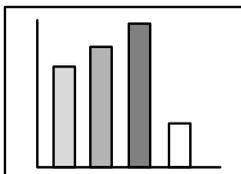
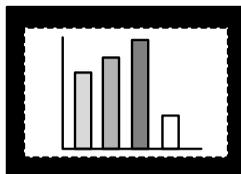
コンピュータ映像投写時は、ウィンドウ表示とリサイズ表示を切り替えます。
ビデオ映像投写時はアスペクト比 4:3 と 16:9 を切り替えます。

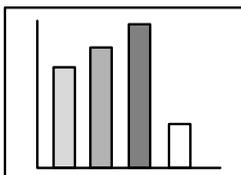
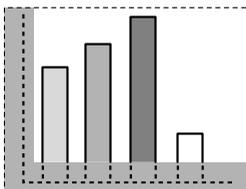
1 ［Resize］ボタンを押します。

画面サイズが切り替わります。

● コンピュータ映像の場合

ウィンドウ表示：入力解像度のまま投写します（リアル表示）。投写サイズと映像サイズが異なる場合があります。
リサイズ表示：投写サイズいっぱいになるよう解像度を縮小･拡大して投写します。

例：入力解像度が表示解像度より小さい場合（800 × 600 の場合）

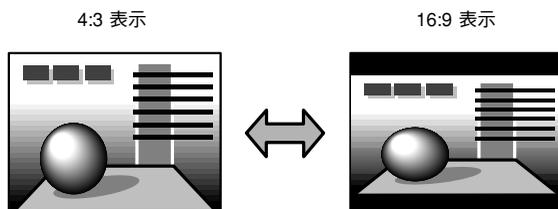
リサイズ表示

ウィンドウ表示

例：入力解像度が表示解像度より大きい場合（1600 × 1200 の場合）

リサイズ表示

ウィンドウ表示

Point

- 入力解像度が液晶の表示解像度（1024×768ドット）と同じ場合は、サイズは切り替わりません。
- 入力解像度が液晶の表示解像度より大きい場合は、映像の一部が表示されません。表示されない部分はリモコンの［Enter］ボタンを倒して表示部分をスクロールしてください。
- SXGA（1280 × 1024 ドット）で表示している場合は、左右に表示されない部分ができます。本体の［Shift］を押しながら［Resize］ボタンを押すと、押すたびに左寄せ→右寄せ→全画面に拡大表示→中央表示に変わります。

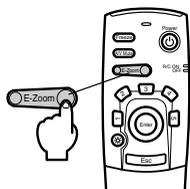
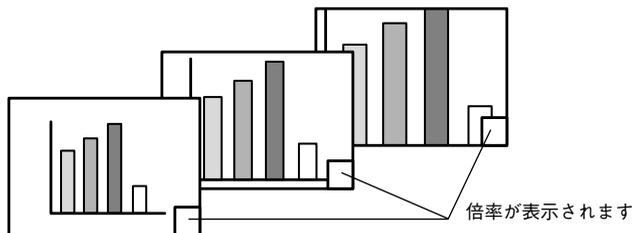
● ビデオ映像の場合

4:3と16:9の映像サイズを切り替えます。デジタルビデオで録画した映像やDVD映像を16：9のワイド画面で投写できます。

4:3 表示　　　　16:9 表示

■ 映像の拡大（E ズーム機能）

投写サイズはそのままで映像を部分的に拡大します。

1 ［E-Zoom］ボタンを押します。

右下に倍率が表示され、映像が拡大・縮小します。

Point

- 1 ～ 4 倍まで、0.125 倍刻みに 24 段階で拡大できます。
- 拡大した場合は、映像の一部が表示されません。表示されない部分はリモコンの［Enter］ボタンを倒して表示部分をスクロールします。
- ピクチャー・イン・ピクチャー機能使用中は、子画面が拡大されます。

■エフェクト機能

[Effect]ボタンでプレゼンテーション中の映像に装飾を付けられます。装飾の設定はエフェクトメニューで変更できます。（参照：66ページ）

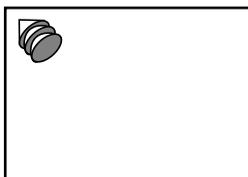
カーソル/スタンプ

映像にスタンプを押せます。

1 **リモコンの［1］ボタンを押します。**

[1]ボタンを押すごとに3種類のカーソル/スタンプに切り替わります。

2 **リモコンの[Enter]ボタンを倒してカーソル/スタンプの位置を移動します。**

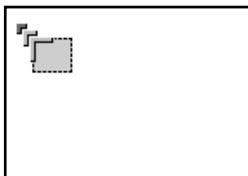
3 **[Enter]ボタンを押すとカーソル位置にスタンプとして表示されます。**

Point

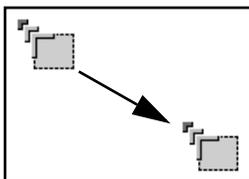
- [Esc]ボタンを押すとエフェクト機能が解除され、カーソルが消えます。
- [5]ボタンを押すと装飾が消えます。
- エフェクト機能中、リモコンでのマウス操作はできません。

四角

映像に四角を描画できます。

1 **リモコンの［2］ボタンを押します。**

2 **リモコンの[Enter]ボタンを倒してカーソルを始点まで移動します。**

3 **[Enter]ボタンを押して始点を決定します。**

4 [Enter]ボタンを倒してカーソルを終点まで移動します。

5 [Enter]ボタンを押して終点を決定します。

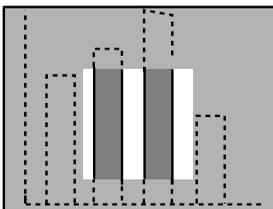
> **Point**
> - [5] ボタンを押すと装飾が消えます。
> - 映像の背景色と四角の色との組み合わせによっては、エフェクトが見えにくい場合があります。その場合は四角の色を変更してください。(参照:66 ページ)
> - エフェクト機能中、リモコンでのマウス操作はできません。

スポットライト

映像の一部にスポットライトを当てることができます。

1 リモコンの［3］ボタンを押します。

[3]ボタンを押すごとに3種類の大きさのスポットライトに切り替わります。

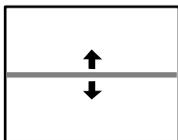
2 [Enter]ボタンを倒してスポットライトを移動します。

> **Point**
> - [Esc]ボタンを押すとエフェクト機能が解除され、スポットライトが消えます。
> - エフェクト機能中、リモコンでのマウス操作はできません。

バー

映像に線を描画できます。

1 **リモコンの［4］ボタンを押します。**

［4］ボタンを押すごとに3種類のバーに切り替わります。

2 **リモコンの［Enter］ボタンを倒してバーを目的の位置まで移動します。**

Point

- ［Esc］ボタンを押すとエフェクト機能が解除され、バーが消えます。
- 映像の背景色とバーの色との組み合わせによっては、エフェクトが見えにくい場合があります。その場合はバーの色を変更してください。（参照：66 ページ）
- エフェクト機能中、リモコンでのマウス操作はできません。

エフェクトクリア

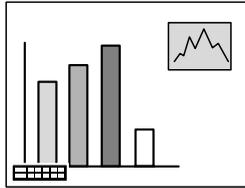
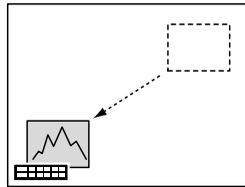
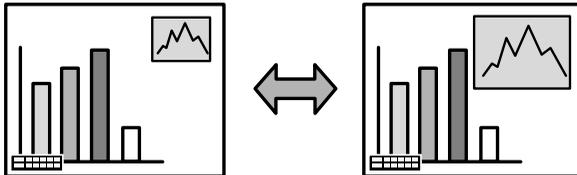
1 **リモコンの［5］ボタンを押します。**

装飾された四角、バーなどが消えます。

■ ピクチャー･イン･ピクチャー機能

コンピュータ映像またはコンポーネントビデオ映像(YCbCrまたはYPbPr)の中にビデオ映像を子画面として表示できます。
また､音声を出すこともできます。

1 ［P in P］ボタンを押します。

画面の右上に子画面が左下に操作の案内が表示されます。

2 リモコンの[Enter]ボタンを倒して子画面の位置を移動します。

3 [E-Zoom]ボタンを押して子画面のサイズを変更します。

4 子画面の音声に切り替えるときはリモコンの[1]ボタンを押します。

音声を切り替えた後､親画面の音声に戻すときは､リモコンの[2]ボタンを押します。

5 **[Enter] ボタンを押して子画面の表示を決定します。**
左下の操作案内が消えます。

Point

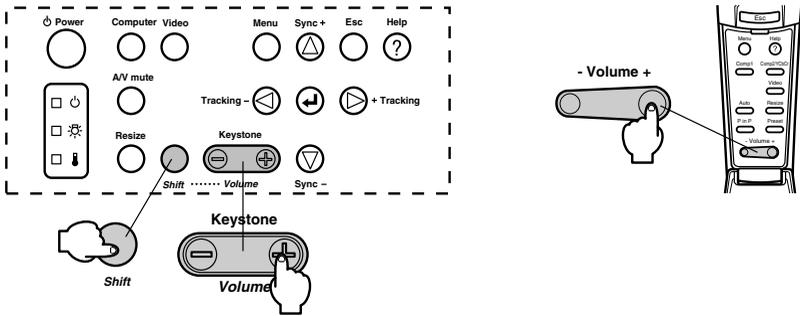
- 再度[P in P]ボタンを押すと子画面が消えます。
- 親画面にはコンピュータ映像またはビデオ映像(コンポーネントビデオ信号のみ)、子画面にはビデオ映像(Video、S-Video)が表示され、子画面のビデオ映像は P in P 設定で変更できます。(参照:66 ページ)
- 子画面の位置とサイズ、音声の切り替えは、子画面の表示を決定する前に行ってください。
- 子画面のサイズは 5 段階で切り替えられます。
- 子画面の位置を変更した場合、次にピクチャー・イン・ピクチャーを実行すると、子画面は前回決定した場所に表示されます。
- 親画面の映像がコンポーネントビデオ、子画面の映像がS-Videoの場合は、音声入力端子が共通のため音声は切り替えできません。

調整・設定

ここでは、プロジェクターの音量調節や設定メニューの操作方法について説明しています。

■ 音量の調節

音声をプロジェクターのスピーカから出力している場合は、音量を調節できます。

1 [Shift] を押しながら [Volume +、−]（リモコンの場合は [Volume +、−]）ボタンを押します。

Point

- 音声信号が入っていないときは調整できません。
- 外部スピーカへ出力しているときも調整できます。

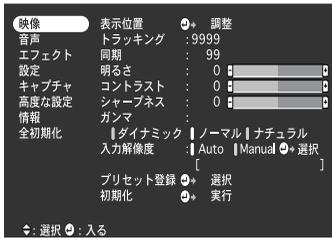
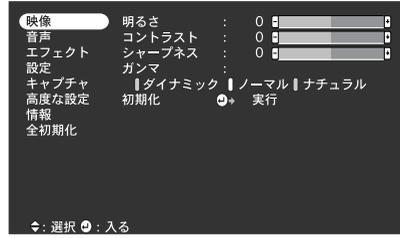
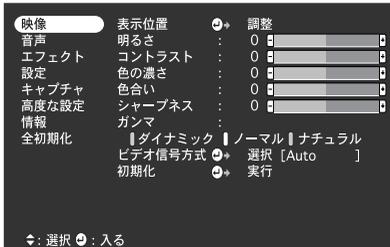
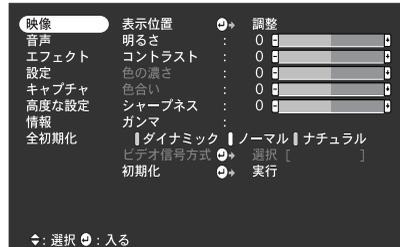
■ メニューの構成

設定メニューでは各種調整や設定ができます。

メニュー項目

メニューはトップメニューとサブメニューがあり、階層構造になっています。また、映像メニューは、入力ソース(接続している端子)によってサブメニューの項目が異なります。

● 各メニュー項目

映像メニュー･コンピュータ（D-Sub15/BNC-RGB）

映像メニュー･コンピュータ（DVI-D）

映像メニュー･ビデオ（Video/S-Video）

映像メニュー･ビデオ（BNC-YCbCr/YPbPr）

Point

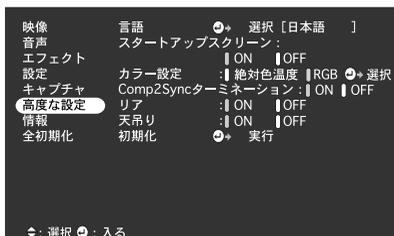
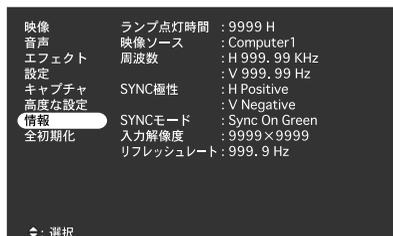
- 映像メニューは投写している入力ソースによって表示される項目が異なり､投写している入力ソース以外のメニューについては､ほとんどの項目を調整することができません。
- 映像信号が入力されていないときは映像メニューのほとんどの項目が調整できません。

音声メニュー

エフェクトメニュー

設定メニュー

キャプチャメニュー

高度な設定メニュー

情報メニュー

情報メニューは、ランプの累積使用時間と、投写している入力ソースの設定状態を表示しています。

全初期化メニュー

Point

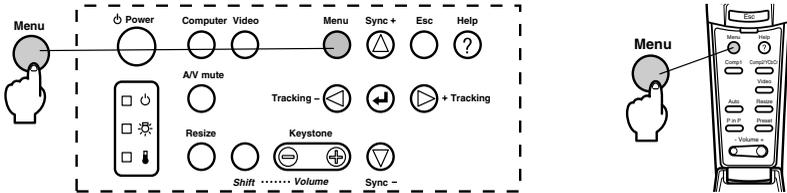
ランプ点灯時間は、0～10時間までは 0H として表示されます。10 時間以上は 1 時間単位で表示されます。

■ メニューの操作

メニューは本体、リモコン、どちらでも操作できます。

操作方法

1 ［Menu］ボタンを押します。

トップメニューが表示されます。

2 項目を選択します。

本体の[Sync　＋、ー]ボタンを押して（リモコンの場合は[Enter]ボタンを上下に倒して）項目を選択します。

3 項目を決定します。

本体の[↵ (Enter)]（リモコンの場合は[Enter]）ボタンを押して項目を決定します。

サブメニューが選択されます。

4 さらに詳細なサブ項目を選択します。

本体の[Sync　＋、ー]ボタンを押して（リモコンの場合は[Enter]ボタンを上下に倒して）サブ項目を選択します。

映像メニューや情報メニューは投写している入力ソースによって表示される項目が異なります。

5 **設定値を選択します。**

本体の[Tracking ＋、ー]ボタンを押して(リモコンの場合は[Enter]ボタンを左右に倒して)設定値を選択します。

Point

- 設定を実行したり下の階層へ続くサブ項目は、項目名の後ろに ↵ (Enter) が付いています。この項目の場合は[Enter]を押して決定した後、さらに設定値を選択します。
- 各設定項目の機能については各設定項目の一覧表を参照してください。(参照:65ページ)

6 **続いて他の項目も同様に設定します。**

7 **[Menu]ボタンを押します。**

メニューを終了します。

Point

- [Esc]ボタンを押すと1つ前の階層のメニューに戻ります。
- 映像メニューは投写している入力ソースによって表示される項目が異なり、投写している入力ソース以外のメニュー調整をすることはできません。
- 映像信号が何も入っていないときは映像メニューが調整できません。

各設定項目

トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
映像	表示位置	映像の表示位置を上下左右に移動します。 [Enter] ボタンを押して表示される表示位置調整画面で調整します。	接続信号による
	トラッキング	コンピュータ映像に縦の縞模様が出るときに調整します。	接続信号による
	同期	コンピュータ映像にちらつき、ぼやけ、横ノイズが出るときに調整します。 ● ちらつき、ぼやけは、明るさやコントラスト* の調整で発生することもあります。 ● トラッキング調整の後に同期を調整したほうが鮮明に調整できます。	0
	明るさ	映像の明るさを調整します。	中心値（0）
	コントラスト*	映像の明暗の差を調整します。	中心値（0）
	色の濃さ	映像の色の濃さを調整します。	中心値（0）
	色合い	映像の色合いを調整します。	中心値（0）
	シャープネス	映像のシャープ感を調整します。	中心値（0）
	ガンマ	映像の色の鮮やかさを補正します。 ダイナミック：色の差がはっきりした映像にします。図形などの表示に向いています。 ノーマル　：補正しない色合いのまま投写します。 ナチュラル　：自然な色合いの映像にします。ビデオ映像に向いています。	ノーマル
	入力解像度	入力解像度を設定します。 Auto：入力解像度を自動的に調整します。 Manual：[Enter] ボタンを押して表示される入力解像度選択メニューから選択します。	Auto
	プリセット登録	コンピュータ入力信号の現在の調整値（入力解像度、トラッキング、同期信号、明るさ、コントラスト、シャープネス、ガンマ、表示位置）を保存しておくことができます。 [Enter] ボタンを押して表示されるプリセット選択メニューから登録するプリセット番号を選択します。 ● プリセットとして登録される調整値は現在の状態です。あらかじめ最適な状態に調整してから登録してください。 ● プリセットされている調整値は［Preset］ボタンで呼び出せます。（参照 :46 ページ）	登録なし
	ビデオ信号方式	ビデオ信号方式を設定します。 [Enter] ボタンを押して表示される Video 信号方式選択メニューから選択します。 ●「Auto」にすると自動的にビデオ信号を設定しますが、PAL（60Hz）方式の場合は「Auto」にしないでください。	Auto
	初期化	映像メニューの調整値を初期値に戻します。 [Enter] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ● 映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。（参照 :67 ページ）	―
音声	音量	音量を調整します。	15
	高音	高音の強さを調整します。	中心値（0）
	低音	低音の強さを調整します。	中心値（0）
	初期化	音声メニューの調整値を初期値に戻します。 [Enter] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 ● 映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。（参照 :67 ページ）	―

トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
エフェクト	カーソル/スタンプ	リモコンの［1］ボタンに割り当てられているカーソル / スタンプの形状や倍率、色、長さを設定します。 ［Enter］ボタンを押して表示されるカーソル / スタンプ設定メニューで項目を選択し、設定します。1 ～ 3 の種類それぞれに、形状や倍率、色、長さの条件を設定できます。（選択したカーソルの形状によっては、倍率や色、長さが設定できません。） • カーソル / スタンプは［1］ボタンで実行し、［1］ボタンを押すごとに種類 1 ～ 3 のカーソル / スタンプが順に切り替わります。（参照 : 54 ページ）	種類1～3で個別設定
	四角	リモコンの［2］ボタンに割り当てられている四角の色や塗りつぶしの有無、形状を設定します。 ［Enter］ボタンを押して表示される 四角設定メニューで 項目を選択し、設定します。 • 四角は［2］ボタンで実行します。（参照 :54 ページ）	色：マゼンタ 塗りつぶし：なし 形状：四角
	スポットライト	リモコンの［3］ボタンに割り当てられているスポットライトの大きさを設定します。 ［Enter］ボタンを押して表示される スポットライト設定 メニューから選択します。 • スポットライトは［3］ボタンで実行します。（参照 : 55 ページ）	大きさ：中
	バー	リモコンの［4］ボタンに割り当てられているバーの色や方向、線幅を設定します。 ［Enter］ボタンを押して表示されるバー設定メニューで項目を選択し、設定します。1 ～3 の種類それぞれに、色や方向、線幅の条件を設定できます。 • バーは［4］ボタンで実行し、［4］ボタンを押すごとに種類 1 ～3 のバーが順に切り替わります。（参照 :56 ページ）	種類1～3で個別設定
	ポインタ移動速度	ポインタの移動速度を選択します。 L：遅い　M：中間　H：速い	M
	初期化	エフェクトメニューの調整値を初期値に戻します。 ［Enter］ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 • 映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。（参照 :67 ページ）	ー
設定	キーストーン	台形に歪んだ画面を補正します。 • 台形補正をすると画面が小さくなります。 • 台形補正の状態は 記憶されます。投写位置や角度を変えたときは、設置位置にあった状態に再調整してください。 • 台形補正でムラが 目立つ場合は、シャープネスを下げてください。（参照 :65 ページ）	中心値（0）
	P in P	ピクチャー・イン・ピクチャー機能の子画面の入力ソースを設定します。 • ピ クチャー・イン・ピクチ ャー機能はリモ コンの［PinP］ボタンで実行します。（参照 :57 ページ）	コンポジット
	ノーシグナル表示	映像信号が入力さ れていないときなど のメッセージ表示の 状態を設定します。 • ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。	青
	入力表示	入力ソースを画面に表示するかしないかを設定します。	ON
	A/V Mute	［A/V Mute］ボタンを押したときの画面の状態を設定します。 • ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。	黒
	BNC	BNC 端子に接続する入力映像信号のモードを設定します。 RGB　：RGB 信号を入力するときに設定します。 YCbCr：コンポーネントビデオ信号（YCbCr）を入力するときに設定します。 YPbPr：コンポーネントビデオ信号（YPbPr）を入力するときに設定します。	RGB
	Sleep Mode	映像信号が入力されていないときの省電力機能を設定します。「ON」にしておくと、「映像信号が入力されていません」の表示状態で 30 分間操作しないと自動的に投写を終了し、Sleep Mode になります。（オペレーションインジケータはオレンジ色に点灯しています。） ［Power］ボタンを押すと投写を再開します。	ON
	初期化	設定メニューの調整値を初期値に戻します。 ［Enter］ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 • 映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。（参照 :67 ページ）	ー

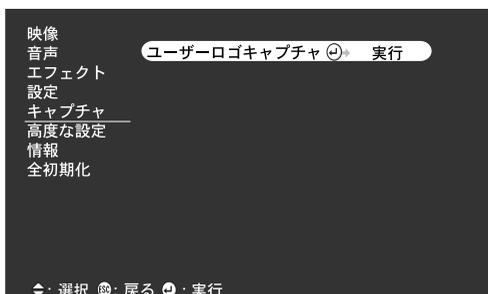
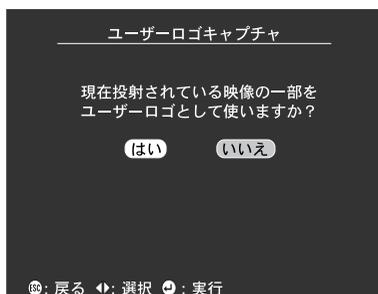
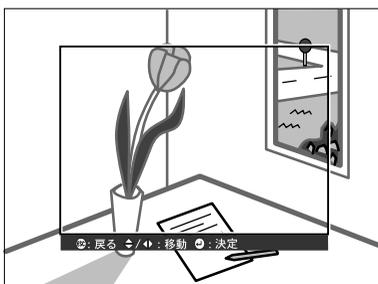
トップメニュー	サブメニュー	機能	初期設定値
キャプチャ	ユーザーロゴキャプチャ	ユーザーロゴを登録します。(参照:68 ページ) [Enter] ボタンを押して表示される確認画面に従って操作します。 • 保存にはしばらく時間がかかります。保存している間は、プロジェクターや接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。 • 保存できるサイズは 400 ×300 ドットです。 • ビデオ映像を投写しているときは、表示サイズが変更されます。	EPSONロゴ
高度な設定	言語	メッセージに表示する言語を設定します。 [Enter] ボタンを押して表示される言語の選択メニューから選択します。	日本語
	スタートアップスクリーン	電源オン後のウォームアップ時にユーザーロゴを表示できます。 • ユーザーロゴを変更するには、ユーザーロゴの登録と設定が必要です。	ON
	カラー設定	映像の色温度 * を調整します。 絶対色温度:色温度を設定します。 RGB:RGB (赤緑青) の各色ごとの強さを設定します。 [Enter] ボタンを押して表示されるカラー設定メニューで R (赤)、G (緑)、B (青) の項目を選択し、設定します。	絶対色温度 7500K
	Comp2 Sync ターミネーション	Computer2 端子のターミネーションモードを設定します。映像の端末処理を行えます。 ON:アナログ (75Ω) で終端します。 OFF:TTL 入力です。 • 通常は「OFF」で使用します。スイッチャーなどでアナログ (75Ω) 終端が必要なとき「ON」にします。	OFF
	リア	半透過性のスクリーンに後方から投写するときに「ON」に設定します。投写映像が左右反転します。	OFF
	天吊り	天井に取り付けて投写するときに「ON」に設定します。投写映像が上下左右反転します。 • 天吊りで使用するには天吊り用オプションが必要です。(参照:86 ページ)	OFF
	初期化	高度な設定メニューの調整値を初期値に戻します。 [Enter] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 • 映像や音声などすべての設定を初期値に戻すときは「全初期化」を実行してください。	ー
情報		(現在の設定を表示します)	ー
全初期化	実行	設定メニューの全項目を初期設定に戻します。 [Enter] ボタンを押して表示される確認画面で「はい」を選択します。 • 映像や音声などメニューごとの設定を初期値に戻すときは、それぞれのサブメニューで「初期化」を実行してください。 • ユーザーロゴ、ランプ時間、言語、BNC の設定は初期値に戻りません。ランプを交換した場合は、初期化してください。(参照:85 ページ)	ー

- 映像メニューや情報メニューは投写している入力ソースによって表示される項目が異なり、投写している入力ソース以外のメニューを調整することはできません。
- 情報メニューは投写している入力ソースの設定状態を表示します。

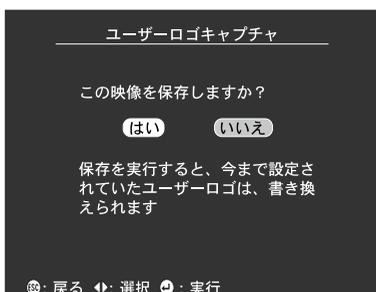
ユーザーロゴの登録

現在表示している映像をユーザーロゴとして登録します。

1 **ユーザーロゴとして登録したい映像を表示します。**

2 **[Menu]ボタンを押し、「キャプチャ」－「ユーザーロゴキャプチャ」を選択します。**
確認画面が表示されます。

3 **「はい」を選択し、本体の[↵ (Enter)]（リモコンの場合は[Enter]）ボタンを押します。**
登録する映像が表示されます。

4 **枠（登録する映像）の位置を本体の[Sync +, -]/[Tracing +, -]（リモコンの場合は[Enter]）ボタンで調整し、本体の[↵ (Enter)]（リモコンの場合は[Enter]）ボタンを押します。**
確認画面が表示されます。

5 「はい」を選択し、本体の[↵ (Enter)](リモコンの場合は[Enter])ボタンを押します。
倍率設定画面が表示されます。

6 倍率を選択し、本体の[↵ (Enter)](リモコンの場合は[Enter])ボタンを押します。
保存を確認する画面が表示されます。

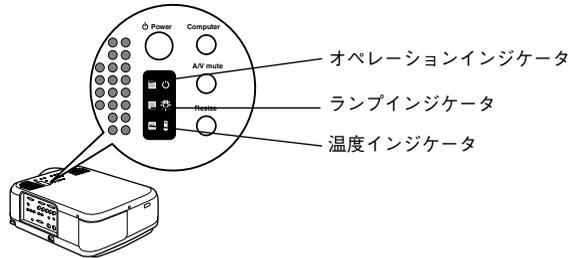
7 「はい」を選択し、本体の[↵ (Enter)](リモコンの場合は[Enter])ボタンを押します。
映像が保存されます。保存終了画面が表示されるまでしばらくお待ちください。

Point

- 保存にはしばらく時間がかかります(約 40 秒)。保存している間は、プロジェクターや接続している機器を操作しないでください。故障の原因になります。
- 登録できるサイズは 400 × 300 ドットです。
- 入力解像度によっては、表示サイズが変更されます。

困ったときに

ここでは、想定されるトラブルおよび対処方法を説明しています。

■ 故障かなと思ったら

故障かな？と思ったら、まず本体のインジケータをご覧ください。
本プロジェクターには「オペレーションインジケータ」「ランプインジケータ」「温度インジケータ」があり、プロジェクターの状態を知らせています。

オペレーションインジケータ

インジケータの状態	原　因	処置または状態	参照ページ
オレンジ色に点灯	スタンバイ状態です	（異常ではありません） ［Power ］ボタンを押すと投写を開始します。	37
オレンジ色に点滅	クールダウン中です	（異常ではありません） • そのまましばらくお待ちください。 クールダウン *（ランプを冷やす動作）の時間は外気温等によって変わります。 • クールダウン中は ［Power］ボタンは操作できません。 クールダウンが終了するとオレンジ色の点灯に変わりますので、もう一度操作してください。	40
緑色に点灯	投写中です	（異常ではありません）	37
緑色に点滅	ウォームアップ中です	（異常ではありません） • そのまましばらくお待ちください。 • ウォームアップ終了後、緑色の点滅が点灯に変わります。	37
赤色に点滅	内部に異常があります	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター（本書裏表紙に記載）に修理を依頼してください。	
消灯	電源が入っていません	電源が入っていません • 電源ケーブルの接続を確認してください。 • コンセントの電源を確認してください。	37

ランプインジケータ

インジケータの状態	原　因	処置または状態	参照ページ
赤色に点滅	ランプに異常が発生しています	● 一旦、ランプを取り出し、ランプが割れていないか確認します。割れていなければ再セットします。その後、電源プラグを差し、本体の電源を入れます。それでも直らないときや、ランプが割れている場合は、破片でけがをしないように取り扱いに注意し、エプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。 ● ランプの交換を行った場合は、ランプやランプカバーが確実に取り付けられているか確認してください。ランプ及びランプカバーが確実に取り付けられていない場合は、ランプが点灯しない構造になっています。	83
オレンジ色に点滅	ランプの交換時期です	新しいランプ（ELPLP12）と交換してください。	83
消灯		（異常ではありません） 電源が入っていない、または、正常に投写中です。	

温度インジケータ

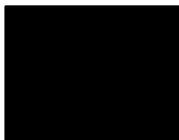
インジケータの状態	原　因	処置または状態	参照ページ
赤色に点灯	内部が高温になっています （オーバーヒート）	ランプが自動的に消灯し、投写できなくなります。約5分間は、そのままの状態でお待ちください。5分経過したら、電源プラグを一旦抜いて、差し直します。 オーバーヒートした場合は、次の2点を確認して改善します。 ● 通気のよい場所に設置されていますか。 吸気口・排気口がふさがれていないか、壁際に設置されていないか確認してください。 ● エアーフィルタにホコリが溜まっていませんか。 エアーフィルタが汚れている場合は、掃除をしてください。 電源プラグを差し直すと、状態が復帰しますのでプロジェクターの電源ボタンを押して電源を入れ直します。上記の改善を行っても、繰り返しオーバーヒート状態になったり、電源を入れ直したときにインジケータが異常を示したときは、ご使用を中止し、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。	19 81
赤色に点滅	内部に異常があります	ご使用をやめ、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンター（本書裏表紙に記載）に修理を依頼してください。	
オレンジ色に点滅	高速冷却中	●（異常ではありませんが、更に高温になると投写を自動的に停止します。） ● 本プロジェクターの使用温度範囲は5℃～40℃ですので、使用温度範囲内でご使用ください。 ● 吸気口・排気口をふさがないよう、通気性のよい場所に設置してください。 ● エアーフィルタの掃除をしてください。	19 81
消灯		（異常ではありません） 電源が入っていない、または、正常に投写中です。	

Point

- インジケータは正常なのに投写映像が異常のときは、次ページの「インジケータを見てもわからないとき」をご参照ください。
- 各インジケータがこの表にない状態のときはお買い上げの販売店、またはインフォメーションセンターにお問い合わせください。

■インジケータを見てもわからないとき

次のような現象でインジケータを見てもわからないときは、各項目を参照してください。

映像が写らない

● 何も表示されない

何も表示されない

●レンズカバーが付いたままではありませんか？
参照：36ページ

●電源をOFFにしてすぐONにしませんでしたか？
投写終了後（クールダウン中）は［Power］ボタンの操作はできません。クールダウン*（投写ランプを冷やす動作：オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しています）が終了してから［Power］ボタンの操作が有効となります。
参照：40ページ

●Sleep Modeをオンにしていませんか？
Sleep Modeを「ON」に設定した場合、映像信号が入らない状態で30分間操作しないと、ランプが自動的に消灯します。このときオペレーションインジケータがオレンジ色に点灯します。
参照：66ページ

●［Power］ボタンを押しましたか？
参照：37ページ

●映像の明るさは正しく調整されていますか？
参照：65ページ

●［A/Vミュート］モードになっていませんか？
参照：50ページ

●初期化してみてください。
参照：67ページ

●入力映像そのものが真黒になっていませんか？
スクリーンセーバーなどで入力映像が真黒になっていることがあります。

●映像信号が入力されていますか？
「メニュー」－「設定」－「ノーシグナル表示」でOFFに設定されているときは、メッセージが表示されません。黒または青に設定して、メッセージを表示させてください。
メッセージが表示されたときは、それぞれの項目を参照してください。
参照：73ページ

● メッセージが出る

「この信号は本プロジェクターでは受けられないタイプです」と表示される

●コンピュータから出力されている映像信号の解像度がUXGA（1,600x1,200）より上になっていませんか？

参照：23ページ

●コンピュータから出力されている映像信号の周波数が対応するモードか確認してください。

コンピュータから出力されている映像信号の解像度・周波数の変更は、コンピュータの取扱説明書などでご確認ください。

参照：23ページ

「映像信号が入力されていません」と表示される

●ケーブル類が正しく接続されていますか？

参照：22, 32ページ

●接続した映像入力端子を正しく選択させていますか？

本体の［Computer］または［Video］（リモコンの場合は［Comp1］、［Comp2/YCbCr］、［Video］）ボタンを押し、映像を切り替えてください。

参照：38ページ

●接続されたコンピュータまたはビデオ機器の電源は入っていますか？

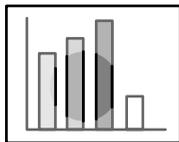
参照：37ページ

●ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータのときには、プロジェクターに映像信号を出力させることが必要になります。

通常は映像信号が液晶画面への出力だけで、外部に出力されていませんので、外部に切り替えてください。

外部に映像信号を出力すると、液晶画面に映像が出せないモデルもあります。接続したコンピュータの取扱説明書「外部出力のしかた」「外付けモニタへ出力のしかた」などを参照してください。

参照：22ページ

映像が汚い

- 映像がぼやける
- 映像の一部しかピントが合わない

●ピントは正しく調整されていますか？
参照：45 ページ

●フット調整で投写角度が大きくなっていませんか？
投写角度が大きい場合、上下でピントがずれて合いにくくなることがあります。

●投写距離は最適ですか？
投写距離の推奨範囲は、1.1m 〜 14.5m です。この範囲で設置してください。
参照：20 ページ

●投写光がスクリーンに対して直角になっていますか？
参照：21 ページ

●レンズが汚れていませんか？
参照：80 ページ

●レンズが結露していませんか？
寒い部屋から急に暖かい部屋へ持ち込んだときなど、レンズの表面が結露して映像がぼやけることがありますが、電源を切ってしばらく放置してください。

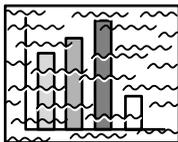
●「同期 *・トラッキング *・表示位置」の調整をしてみましたか？
本体の ［Tracking］ボタン・［Sync］ボタンで映像を見ながら調整します。「メニュー」を開いて調整することもできます。
参照：46, 65 ページ

●映像の信号形式の設定は合っていますか？

- コンピュータ映像の場合

「メニュー」－「映像」－「入力解像度」で信号方式を設定してください。入力している映像信号により Auto では判別できないことがあります。
参照：65 ページ

- ビデオ映像の場合

「メニュー」－「映像」－「ビデオ信号方式」でビデオ信号方式を選択してください。入力しているビデオ信号により Auto では判別できないことがあります。
参照：65 ページ

- 映像が乱れる
- ノイズが入る

●ケーブルは正しく接続されていますか？

参照 : 22, 32 ページ

●解像度の選択は正しいですか？

本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。

参照 : 23 ページ

●「同期 *・トラッキング *・表示位置」の調整をしてみましたか？

本体の［Tracking］ボタン・［Sync］ボタンで映像を見ながら調整します。「メニュー」を開いて調整することもできます。

参照 : 46, 65 ページ

●ケーブルを延長していませんか？

ケーブルを延長するとノイズが入ることがあります。

●映像の信号形式の設定は合っていますか？

- コンピュータ映像の場合

「メニュー」－「映像」－「入力解像度」で、信号方式を設定してください。入力している映像信号により Auto では判別できないことがあります。

参照 : 65 ページ

- ビデオ映像の場合

「メニュー」－「映像」－「ビデオ信号方式」で、ビデオ信号方式を選択してください。入力しているビデオ信号により Auto では判別できないことがあります。

参照 : 65 ページ

●「メニュー」－「設定」－「BNC」の設定が接続機器に合っていますか？

- コンピュータ映像の場合

「RGB」にしてください。

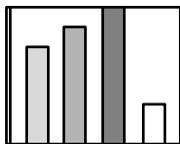
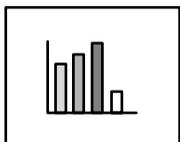
参照 : 26 ページ

- ビデオ映像の場合

コンポーネントビデオ信号の場合は、入力信号の種類に合わせて「YCbCr」または「YPbPr」にしてください。

参照 : 33, 34 ページ

RGB 映像信号の場合は「RGB」にしてください。

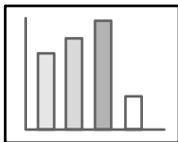
映像が切れる（大きい）/ 小さい

- 映像が切れる
- 小さい

●「Resize」が正しく選択されていない可能性があります。
[Resize] ボタンを押してください。
参照 : 51 ページ

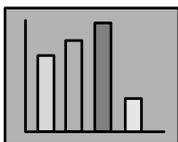
●「表示位置」の調整をしてください。
「メニュー」－「映像」－「表示位置」で調整してください。
参照 : 65 ページ

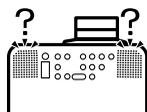
●解像度の選択は正しいですか？
本プロジェクターに対応する信号にコンピュータを合わせてください。信号の変更はコンピュータの取扱説明書などで確認してください。
参照 : 23 ページ

●ノートタイプや液晶一体型タイプのコンピュータの解像度を変更してください。
画面いっぱいの表示になるよう解像度を変更するか、映像信号を外部出力のみにしてください。
参照 : 22 ページ

●デュアルディスプレイの設定をしていませんか？
コントロールパネルの「画面のプロパティ」でデュアルディスプレイの設定をしていると、プロジェクターでコンピュータ画面の映像を投写したとき、半分くらいしか表示されません。コンピュータ画面の映像をすべて表示する場合は、デュアルディスプレイの設定を解除します。詳しくは、お使いのコンピュータに組み込んでいるビデオドライバのマニュアルをご覧ください。

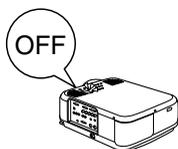
映像の色が悪い

●映像の明るさは正しく調整されていますか？
参照：65 ページ
●ケーブル類が正しく接続されていますか？
参照：22, 32 ページ
●コントラスト * は正しく調整されていますか？
参照：65 ページ
●カラー設定は正しく調整されていますか？
参照：67 ページ
●色の濃さ、色合いは正しく調整されていますか？
（コンピュータのモニタや液晶画面への表示と映像の色合いは必ずしも一致しませんが、異常ではありません。）
参照：65 ページ
●ランプの交換時期ではありませんか？
ランプインジケータが点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいてきていることを知らせています。ランプの交換時期が近づきますと映像が暗くなったり色合いが悪くなりますので、新しいランプと交換してください。
参照：83 ページ
●コンポーネントビデオ信号入力で「メニュー」－「設定」－「BNC」の設定が接続機器に合っていますか？
入力信号の種類に合わせて「YCbCr」または「YPbPr」にしてください。
参照：33, 34 ページ

映像が暗い

●ランプの交換時期ではありませんか？
ランプインジケータが点滅している場合は、ランプの交換時期が近づいてきていることを知らせています。ランプの交換時期が近づきますと映像が暗くなったり色合いが悪くなりますので、新しいランプと交換してください。
参照：83 ページ
●映像の明るさは正しく調整されていますか？
参照：65 ページ
●コントラストは正しく調整されていますか？
参照：65 ページ

音が出ない

- 音声入力は正しく接続されていますか？
  参照：28, 32 ページ
- 音声を出したい映像が選択されていますか？
  参照：38 ページ
- 接続した機器から音が出ていますか？
  接続機器の音量などを確認してください。
- 音量調整が最小になっていませんか？
  参照：59 ページ
- 「A/V ミュート」が ON のままではありませんか？
  「A/V ミュート」モードになっていることが考えられます。
  ［A/V Mute］ボタンを押すか、音量を調整またはメニューを表示して「A/V ミュート」を解除してください。
  参照：50 ページ
- 外部スピーカへ出力していませんか？
  Audeio Out 端子へステレオミニジャックを接続しているときは、本体のスピーカから音声は出力されません。

リモコンで操作ができない

- リモコンの R/C ON OFF スイッチが「ON」になっていますか？
  参照：37 ページ
- 正しい方向に向けてリモコンを操作していますか？
  操作可能範囲は、左右約 30°、上下約 15°です。
  参照：17 ページ
- プロジェクターとの距離が遠すぎませんか？
  操作可能距離は、約 10m です。
  参照：17 ページ
- リモコンレシーバーを接続していて、リモコンをプロジェクターに向けて操作していませんか？
- プロジェクターのリモコン受光部がふさがれていませんか？
- リモコン受光部に直射日光や蛍光灯の強い光が当たっていませんか？
- 乾電池は入っていますか？
  参照：18 ページ
- 乾電池が消耗していませんか？
- 乾電池が逆にセットされていませんか？
  参照：18 ページ

終了しない（[Power]ボタンを押した後…）

●オペレーションインジケータがオレンジに点灯したままになっている。

本プロジェクターは電源を切ってもオペレーションインジケータは消灯しない構造になっています。
コンセントから電源プラグを抜くと、オペレーションインジケータは消灯します。

●ファンが止まらない。

［Power］ボタンを押して電源を切った後、クールダウン＊（投写ランプを冷やす動作：オペレーションインジケータがオレンジ色に点滅しています）をおこないます。その後オペレーションインジケータがオレンジに点灯しますので、電源プラグをコンセントから抜いてください。
※クールダウンの時間は、外気温等によって変わります。

Point

確認の結果、それでも異常があるときは、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。

メンテナンス

ここでは、お手入れの方法や消耗品の交換などメンテナンス項目について説明しています。

■ 本体の掃除・レンズの掃除・エアーフィルタの掃除

本体が汚れたり映像の写りが悪くなったら掃除をしてください。また、エアーフィルタは100時間ごとを目安に掃除をしてください。

⚠警告

- サービスマン以外の方はケースを絶対に開けないでください。内部には電圧の高い部分が数多くあり、感電の原因となります。内部の点検・修理・調整・清掃などは、お買い上げの販売店または、エプソンサービスコールセンターに依頼してください。
- 電源プラグ・電源コネクタの取り扱いには注意してください。取り扱いを誤ると、火災・感電の原因となります。電源プラグを取り扱う際は、次の点を守ってください。
  ・電源プラグ・電源コネクタはホコリなどの異物が付着したまま差し込まない。
  ・電源プラグ・電源コネクタは根元まで確実に差し込む。
  ・濡れた手で電源プラグ・電源コネクタの抜き差しをしない。

⚠注意

- 使用直後は、絶対にランプを取り出さないでください。
  熱で、やけど・けがの原因となることがあります。電源を切ってから約60分経過して、ランプが十分冷えてからおこなってください。
- お手入れの際には、電源プラグ・電源コネクタをコンセントから抜いてください。
  感電の原因となることがあります。

本体の電源を切り、電源ケーブルをはずしてから掃除をしてください。

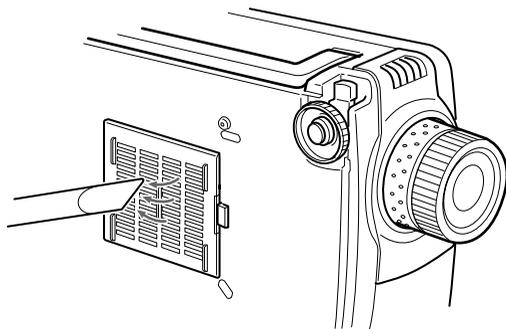
本体の掃除

- 本体の汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。
- 汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に布をひたしてかたくしぼり、軽くふき取ってから乾いた布で仕上げてください。
  ワックス、ベンジン、シンナーなど揮発性のものは使わないでください。ケースが変質したり、塗料がはげたりすることがあります。

レンズの掃除

レンズの掃除は、市販のブローワーやレンズクリーニングペーパーなどでおこなってください。レンズの表面は傷つきやすいので、かたいものでこすったり、たたいたりしないでください。

エアーフィルタの掃除

エアーフィルタにほこりがたまると、空気の通りが悪くなり、内部の温度が上昇し、故障の原因となります。
エアーフィルタのごみが中に入らないように、必ずプロジェクターを立てたまま掃除機でほこりを吸い取ってください。

Point

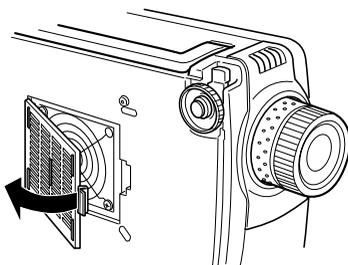
- エアーフィルタの汚れが落ちなくなったり、破れたりしたら交換時期ですので、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 交換用ランプには、交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に交換してください。

■エアーフィルタの交換

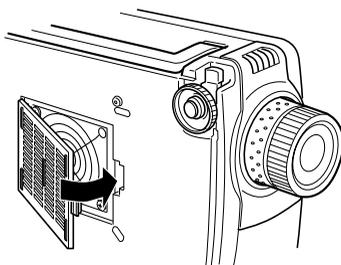
交換のしかた

1 **本体の電源を切り、クールダウン * が終了してから、電源ケーブルをはずします。**

クールダウンの時間は､外気温などによって変わります。

2 **エアーフィルタをはずします。**

Point

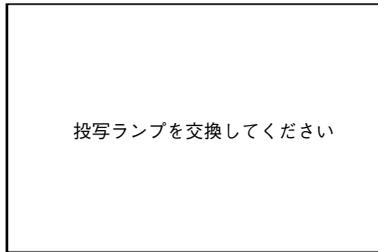
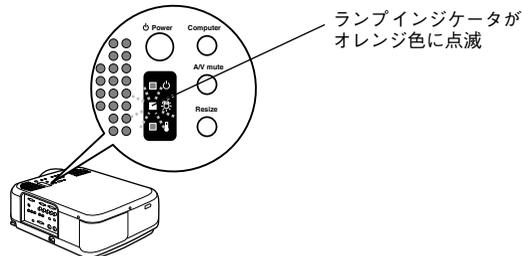
エアーフィルタのごみが中に入らないように､必ずプロジェクターを立てたまま交換してください。

3 **新しいエアーフィルタをセットします。**

Point

- つめの部分を先に入れてからひっかけ部を押し付けてセットします。
- 使用済みのエアーフィルタは､地域の廃棄ルールに従って廃棄してください。

■ ランプの交換

次のときは、ランプの交換をしてください。(型番 ELPLP12)

投写を開始したときに「投写ランプを交換してください」のメッセージが 30 秒間表示されたとき

ランプインジケータがオレンジ色に点滅したとき

初期に比べ、明るさや画質が落ちたとき

Point

- 初期の明るさや画質を維持するため、表示が出たら、なるべく早めにランプを交換してください。
- 交換表示は、初期の明るさや画質を維持するため、約 1400 時間で表示されます。交換時期を超えて使い続けると、ランプが破裂する可能性が一段と高くなります。ランプ交換のメッセージが表示されたら、まだランプが点灯する状態でも、すみやかに新しいランプと交換してください。
- 交換表示は、約 1400 時間で出ますが、個々のランプの特性や使用条件などで、1400 時間前に点灯しなくなるものがありますので、交換用ランプを準備しておくことをお奨めします。
- 交換用ランプはエプソンOA サプライ株式会社、フリーダイヤル(0120)251-528 および、お近くのエプソン商品取扱店でお買い求めください。

⚠ 警告

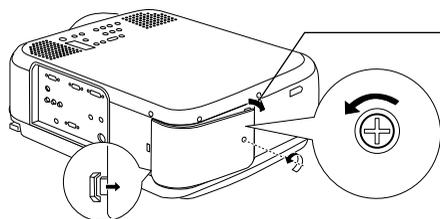
万一、ランプが割れた場合は、破片でけがなどしないよう、取り扱いに注意し、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターに修理を依頼してください。

交換のしかた

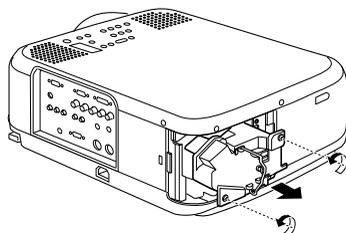
1 **本体の電源を切り、クールダウン * が終了してから、電源ケーブルをはずします。**

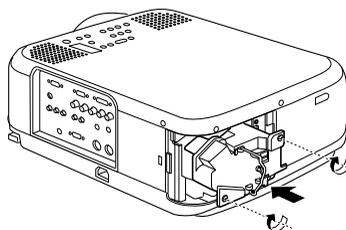
クールダウンの時間は、外気温などによって変わります。

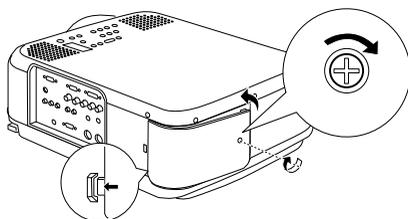
2 **ランプが十分冷えてからランプカバーをはずします。**

- ランプが十分冷えるには約60分間必要です。
- 交換用ランプに付属のドライバーでランプカバー固定ネジをゆるめます。
  ランプカバーの右側を少し手前に引いてフックをはずし、左側にずらしてカバー全体を取ります。

カバーを手前に引くときは開閉角度が15°以上にならないように注意してください。むりに引くとフックのツメが曲がる場合があります。

3 **ランプを引き出します。**

ランプ固定ねじ2個をゆるめ、取手をおこしてランプを引き出します。

4 **新しいランプを取り付けます。**

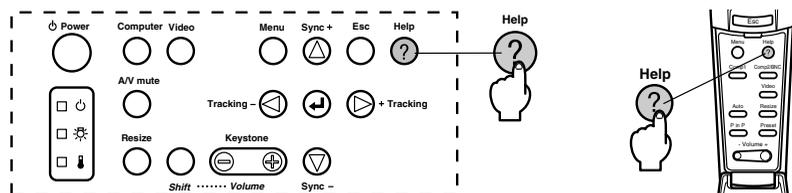
方向を合わせ、奥に当たるまで差し込み、ランプ固定ねじ2個をしめます。

5 **ランプカバーを取り付けます。**

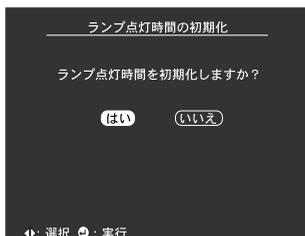
ランプカバーの左側のフックをはめてから右側のフックをはめて取り付けます。その後、ねじを回して固定します。

Point

- ランプやランプカバーは確実に取り付けてください。ランプやランプカバーの取り付けが不十分だとランプは点灯しません。
- 交換用ランプに交換用エアーフィルタが同梱されています。ランプ交換時に交換してください。
- 新しいランプを取り付けた後は、必ず以下の手順でランプ点灯時間を初期化してください。

ランプ点灯時間の初期化のしかた

1 **［Help］ボタンを5秒以上押し続けます。**

ヘルプメニューが表示された後、ランプ点灯時間の初期化画面が表示されます。

2 **「はい」を選択します。**

本体の[Tracking＋、－]ボタンを押して（リモコンの場合は[Enter]ボタンを左右に倒して）「はい」を選択します。

3 **実行します。**

本体の[↵ (Enter)]（リモコンの場合は[Enter]）ボタンを押して実行します。

その他

ここでは、オプションやアフターサービスなどのご案内と仕様、用語解説といった技術的項目を説明しています。

■ オプション品

マルチメディアビューワー （XGA 対応書画カメラ）	ELPDC02
マルチメディアビューワー （ビデオ対応書画カメラ）	ELPDC03
コンピュータケーブル （D-Sub15/D-Sub15、1.8m） 付属品と同等	ELPKC02
コンピュータケーブル （D-Sub15/D-Sub15、3.0m）	ELPKC09
コンピュータケーブル （D-Sub15/D-Sub15、20m）	ELPKC10
コンピュータケーブル （D-Sub15/5BNC、1.8m）	ELPKC11
コンピュータ延長ケーブル（5m 延長）	ELPCB05
コンピュータ延長ケーブル（10m 延長）	ELPCB10
デジタル I/F ケーブル （DVI-D/DVI-D、3.0m）	ELPKC20
デジタル I/F ケーブル （DVI-D/DFP、3.0m）	ELPKC21
D 端子ケーブル （3BNC/D 端子 3.0m）	ELPKC23
マウスケーブルセット 付属品と同等	ELPKC24
ソフトキャリングケース	ELPKS08
ハードトラベルケース	ELPKS25
短焦点アタッチメントレンズ	ELPAW01
長焦点アタッチメントレンズ	ELPAL01
交換用ランプ	ELPLP12
天吊り金具	ELPMB06
天井プレート（シルバー）	ELPFC03
パイプ 370（シルバー、370mm）	ELPFP04
パイプ 570（シルバー、570mm）	ELPFP05
パイプ 770（シルバー、770mm）	ELPFP06
ウィンドウスクリーン（40 型）	ELPHS01
ウィンドウスクリーン（60 型）	ELPHS03
54 型分割マグネットスクリーン	ELPSC09
携帯スクリーン（50 型）	ELPSC06
60 型スクリーン	ELPSC07
80 型スクリーン	ELPSC08
PC セレクタ	ELPST01
リモコンレシーバー	ELPST04

■ 輸送方法について

本機内部にはガラス部品や精密部品が数多く使われています。輸送の際には、衝撃による故障防止のため、次のように取り扱ってください。

● 修理などでメーカーに輸送する場合

- お買い上げいただいたときの輸送箱をご利用ください。
- 輸送箱がない場合には、本機に衝撃が伝わらないように、本体の周囲を緩衝材などで保護し、堅固な段ボール箱に入れて輸送してください。

● くり返し輸送する場合

- 梱包は、本機に衝撃が加わらないように、本機の周辺を緩衝材などで保護し、堅固な段ボール箱に入れてください。
- 輸送は、精密機器輸送が可能な宅配業者に精密機器であることを告げ、依頼してください。

● ハンドキャリングする場合

- オプション品のハードトラベルケース(ELPKS25)をご利用ください。

※ **航空機での移動の場合には、手荷物として持ち込んでください。**

※ **お客様が、輸送の際に発生した故障に関する保証はいっさいできかねますので、ご了承ください。**

■用語解説

本書で使用している用語で､本文中に説明がなかったもの､あるいは難しいものを簡単に説明します｡詳細については市販の書籍などを利用してください。

A/V Mute （A/V ミュート）	一時的に音声と映像を同時に消すことをいいます。本プロジェクターでは［A/V Mute］ボタンを押すことにより音声と映像を同時に消すことができます。再度［A/V Mute］ボタンを押すか、音量を調整またはメニューを表示させると解除されます。
DVI-D 端子	デジタルビデオの DVI 規格（Digital Visual Interface：ビデオ信号をデジタル伝送する規格）に対応した入力端子です。伝送時に同期やトラッキングのズレが生じません。
D 出力端子	日本国内での新規デジタル放送に対応したデジタルチューナーの出力端子です。
Remote 端子	オプションのリモコンレシーバを接続できます。
SVGA	IBM PC/AT 互換機（DOS/V 機）の信号で横 800 ドット×縦 600 ドットのものを呼びます。
SXGA	IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横1,280 ドット×縦1,024 ドットのものを呼びます。
Sync（同期）	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の位相（山のずれ）を合わせることを同期を合わせるといいます。同期が合っていないと投写映像にちらつき、ぼやけ、横方向のノイズが出ます。
VGA	IBM PC/AT 互換機（DOS/V 機）の信号で横 640 ドット×縦 480 ドットのものを呼びます。
XGA	IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横1,024 ドット×縦768 ドットのものを呼びます。
USB	Universal Serial Bus の略で､比較的低速な周辺機器とパソコン間を接続するためのインターフェイスです。
UXGA	IBM PC/AT互換機（DOS/V機）の信号で横1,600 ドット×縦1,200 ドットのものを呼びます。
色温度	光を発する物体の温度をいいます。色温度が高いと青みがかかった色合いになり、色温度が低いと赤みがかかった色合いになります。
色差信号 （コンポーネント）	ビデオ機器から赤 - 輝度（R-Y）、輝度（Y）、青 - 輝度（B-Y）の 3 つの信号を 3 本のケーブルで送る方式で、コンポジット信号（赤、緑、青の色信号と、その輝度信号を 1 本のケーブルで送る方式）とくらべて、よりきれいに投写することができます。
オペレーティングシステム	コンピュータを動かすために必要なソフトウェアです。
クールダウン	Power ボタンを押しランプを消灯させても、ランプの冷却は引き続きおこなわれています。ランプが消灯してから冷却ファンが回転するのと同時に、操作ボタンでの操作ができなくなります。この間をクールダウンと呼びます。クールダウン時間は、外気温等によって変わります。
コントラスト	色の明暗の差を強くしたり弱くしたりすることにより、文字や絵がハッキリ見えたり、ソフトに見えたりすることです。この調整をコントラストの調整といいます。
スタック投写	投写映像の輝度を上げるために、複数台のプロジェクタを使い、同一の映像を重ねて投写することをいいます。
盗難防止用ロック	プロジェクターのケースに備え付けられた穴に市販の盗難防止用ケーブルを通し、机や柱などに固定します。kensington 社製のマイクロセーバーセキュリティシステムに対応しています。日本正規輸入代理店の連絡先は、以下のとおりです。 七陽商事株式会社　情報機器事業部 〒 103-0007 東京都中央区日本橋浜町 2-55-7（ナナヨービル） Tel: 03-3663-7787　Fax: 03-3669-2367
トラッキング	コンピュータから出力される信号は、ある決まった周波数で出力されます。その周波数にプロジェクターの周波数を合わせないときれいな映像になりません。信号の周波数（山の数）を合わせることをトラッキングを合わせるといいます。トラッキングが合っていないと投写映像に幅広の縦の縞模様が出ます。

■ 仕様

商品名	マルチメディアプロジェクター ELP-7700	
外形寸法	幅277×高さ143×奥行き361mm	
パネルサイズ	1.3 型（幅27 ×高さ 20 ×対角 34 mm）	
表示方式	ポリシリコン TFT	
駆動方式	フルライン 12 相ブロック順次書き込み	
画素数	786,432 個（横 1,024 ×縦 768 ドット× 3）	
フォーカス調整	手動	
ズーム調整	手動（約 1：1.3）	
ランプ（光源）	UHE ランプ 型番：ELPLP12 定格 200W	
音声最大出力	3W ＋ 3W ステレオ	
スピーカ	2 個	
電源	100-240VAC　50/60Hz　3.4A-1.7A 定格消費電力 285W　スタンバイ時 9W	
使用温度範囲	＋5 ℃～＋ 40 ℃（結露のないこと）	
保存温度範囲	－10 ℃～＋60 ℃（結露のないこと）	
質量	約 6.9kg	
接続端子	Computer1 端子	1 系統　ミニ D-Sub 15pin（メス）/ DVI-D 端子（切り替え）
	Monitor Out 端子	1 系統　ミニ D-Sub 15pin（メス）
	Audio 端子（Computer1 用）	1 系統　ステレオミニジャック
	L-Audio-R 端子 (S-Video /BNC 用)	1 系統　RCA ピンジャック× 2（L、R）
	L-Audio-R 端子（Video 用）	1 系統　RCA ピンジャック× 2（L、R）
	Mouse 端子	2 系統　DIN 10pin
	BNC 接続端子	1 系統　5BNC（メス）
	Video 端子	1 系統　RCA ピンジャック
	S-Video 端子	1 系統　ミニ DIN 4pin
	Remote 端子	1 系統　ステレオミニジャック
	Audio Out	1 系統　ステレオミニジャック
	Control 端子	1 系統　RS-232C

■ 保証とアフターサービス

● 保証書

保証期間中に万一、故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。保証期間はお買い上げ日より 1 年間です。保証書は、製品の保証期間を証明するものです。保証書の内容をよくご覧いただき、大切に保管してください。
また、保証期間中に修理をご依頼いただく際は、必ず保証書を添付してください。

● 修理を依頼される前に

「故障かな？」と思ったら、本書の「困ったときに」をご覧いただき、接続や設定に間違いのないことをご確認ください。それでも直らないときは、次の処置を行ってから修理を依頼してください。ご自分での修理は、大変危険ですので絶対にしないでください。

- 次ページ以降のチェックシートをチェックする。
- プロジェクターの電源を切る。
- プロジェクターの電源コネクタとコンセントから電源コードを抜く。

● 保守サービスの種類と申し込み先

本機には、次の保守サービスが用意されています。ご要望に合うものをお選びください。
プロジェクターの出張修理サービスは行っていません。あらかじめご了承ください。

持ち込み修理

修理品を次のいずれかにお持ちいただくか、送付していただき、いったんお預かりして修理します。

【持ち込み・送付先】

- 製品をお買い求めいただいた販売店
- エプソンの各修理センター
  各修理センターの連絡先は、本書裏表紙の一覧をご覧ください。

ドア to ドアサービス

お申し込みいただくと、エプソン指定の運送業者が修理品を引き取りに伺います。ドア to ドア料金(輸送費)は有償となります。保証期間外の場合は、ドアtoドア料金とは別に修理代金が必要となります。

【申し込み先】

- エプソンの各修理センター
  各修理センターの連絡先は、本書裏表紙の一覧をご覧ください。

年間保守契約

製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込み、または送付いただき、いったんお預かりして修理いたします。
修理のつどの修理代※がかかりませんので、予算化ができ便利です。また、下記の代替機サービスを受けられます。
※ランプは消耗品です。ランプの交換を行った場合、ランプの費用は有償となります。

【申し込み先】

- エプソンサービスコールセンター
  エプソンサービスコールセンターの連絡先は、本書裏表紙の一覧をご覧ください。

代替機サービス

次の場合は、修理期間中、代替機の貸し出しを行っています。

- 保証期間内の修理期間中
- 保守契約を結ばれているお客様の修理期間中

【申し込み先】

- エプソンサービスコールセンター
  エプソンサービスコールセンターの連絡先は、本書裏表紙の一覧をご覧ください。

● 部品の保有期間

当社は、本製品の補修用性能部品（本製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後 8 年保有しています。この期間は通商産業省(昭和 49 年通達)の指導によるものです。

■ 国際保証制度

本機にはワールドワイド保証がついており、購入された国以外の世界 48ヶ国以上で修理が受けられます。製品に添付された保証書に記載の内容は、この国際保証の内容ではなく、その保証書の有効な国においてサービスを受ける際に適用されますことをご留意願います。

エプソンのマルチメディアプロジェクターの国際保証は以下の国においてのみ適用されます。

＜欧州＞

・オーストリア ・ベルギー ・ブルガリア ・クロアチア ・キプロス ・チェコ
・デンマーク ・フィンランド ・フランス ・ドイツ ・ギリシャ ・ハンガリー
・アイルランド ・イタリア ・ルクセンブルグ ・マケドニア ・オランダ
・ノルウェー ・ポルトガル ・ポーランド ・ルーマニア ・スロバキア ・スロベニア
・スペイン ・スウェーデン ・スイス ・トルコ ・イギリス ・ユーゴスラビア

＜北米·中米＞

・カナダ ・コスタリカ ・メキシコ ・アメリカ

＜南米＞

・アルゼンチン ・ブラジル ・チリ ・コロンビア ・ペルー ・ベネズエラ

＜アジア·オセアニア＞

・オーストラリア ・中国 ・ホンコン ・日本 ・韓国 ・マレーシア ・シンガポール
・台湾 ・タイ

保証期間と条件は以下の記載によります。

1) この保証は、製品を購入した国で発行された保証書またはレシートを提示された場合に有効となります。
2) この保証は、この取扱説明書に記載された国のエプソン及びエプソン指定のサービス機関の条件に基づき実施されます。
   - 保証期間は購入から24ヶ月。
   - 保証の適用範囲はエプソンの保証の受入条件に沿ったスペアパーツ代と修理工賃。
   - 修理中の代替機の貸与は原則としておこなわない。
3) この保証は、下記の場合には適用されません。
   a. 消耗品(ランプ)及びオプション品の故障の場合
   b. 本製品がお客様により不適当に使用されたり、輸送による損傷及び本書の内容に従わず取り扱われた場合
   c. エプソン及びエプソン指定のサービス機関以外の第三者により、修理、変更された場合
   d. エプソン純正品、及びエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合

ご注意

電源ケーブルについては購入国の電源状況に基づきセットされています。海外でご使用される場合には、必ずその国向けのエプソン純正電源ケーブルをお買い求めください。

エプソンマルチメディアプロジェクター国際保証連絡先リスト

この連絡先リストは 2001 年 8 月 8 日現在のものです。最新の連絡先は下記の各国の連絡先のWeb Home Pageを参照ください。それらの記載が無い場合はメインのWeb Home Page www.epson.com.をご覧ください。

<EUROPE>

AUSTRIA :
EPSON Support Center Austria
Tech. Help Desk:
00491805 235470
Web Address:
http://www.epson.at

BELGIUM :
EPSON Support Center BeNeLux
Tech. Help Desk: 032 70222082
Web Address:
http://www.epson.be

BULGARIA :
PROSOFT
6. AI Jendov Str.
BG-1113 Sofia
Tel: 00359.2.730.231
Fax: 00359.2.9711049
E-mail: Prosoft@internet-BG.BG

CROATIA :
Recro d.d.
Trg. Sportova 11
HR-10000 Zagreb
Tel: 00385.1.6350.777
Fax: 00385.1.6350.716
E-mail: recro@recro.hr
Web Address:
http://www.recro.hr

CYPRUS :
CTC- INFOCOM
6a. lonos Str., Engomi
P. O. Box 1744
2406 Nicosia, Cyprus
Tel: 00357.2.458477
Fax: 00357.2.668490

CZECH :
EPRINT s.r.o.
Stresovicka 49
CZ-16200 Praha 6
Tel: 00420.2.20180610
Fax: 00420.2.20180611
E-mail: eprint@mbox.vol.cz

DENMARK :
Tech. Help Desk: 80881127

FINLAND :
Tech. Help Desk: 0800.523010
(note. Some geographical areas excluded)

FRANCE :
EPSON France,
68 bis rue Marjolin, F-92300 Levallois,
Tech. Help Desk: 0.836.686.687
Web Address:
http://www.epson.fr

GERMANY :
EPSON Deutschland GmbH
Zülpicher Straße 6
D-40549 Düsseldorf
Tech. Help Desk: 01805 235470
Web Address:
http://www.epson.de

GREECE :
Pouliadis Ass. Corp.
Aristotelous St. 3
GR-19674 Athens
Tel: 0030.1.9242072
Fax: 0030.1.9441066

HUNGARY :
R.A. Trade Kft.
Petöfi Sandor u. 64
H-2040 Budaör
Tel: 0036.23.415.317
Fax: 0036.23.417.310

IRELAND :
Tech. Help Desk: 01.6799016

ITALY :
EPSON Italia s.p.a.
Assistenza e Servizio Clienti
Viale F. Lli Casiraghi, 427
20099 Sesto
San Giovanni (MI)
Tech. Help Desk: 02.29400341
Web Address:
http://www.epson.it

LUXEMBURG :
EPSON Support Center BeNeLux
Tech. Help Desk:
0032 70 222082
Web Address:
http://www.epson.be

MACEDONIA :
Rema Kompjuteri d.o.o.
St. Naroden Front 19a
lok 16
91000 Skopje/ Macedonia
Tel: 00389.91.118159
Fax: 00389.91.118159

NETHERLANDS :
EPSON Support Center BeNeLux
Tech. Help Desk: 043 3515752
Web Address:
http://www.epson.nl

NORWAY :
Tech. Help Desk: 800.11828

POLAND :
FOR EVER Sp. z.o.o.
Ul. Frankciska Kawy 44
PL- 01-496 Warszawa
Tel: 0048.22.638.9782
Fax: 0048.22.638.9786
E-mail: office@for-ever.com.pl

PORTUGAL :
EPSON Portugal, S.A.
Rua do Progresso, 471-1
Perafita- Apartado 5132
Tech. Help Desk: 0808 200015
Web Address:
http://www.epson.pt

ROMANIA :
MB Distribution S.R. L.
162, Barbu Vacarescu Blvd.
Sector 2
RO- 71422 Bucharest
Tel: 0040.1.2300314
Fax: 0040.1.2300313
E-mail: office@mbd-epson.ro

SLOVAKIA :
Print Trade spol. s.r.o.
Cajkovskeho 8
SK-98401 Lucenec
Tel: 00421.863.4331517
Fax: 00421.863.4325656
E-mail: Prntrd@lc.psg.SK
Web Address:
http://www.printtrade.sk

SLOVENIA :
Repro Ljubljana d.o.o.
Smartinska 106
SLO-1001 Ljubljana
Tel: 00386.61.1853411
Fax: 00386.61.1400126

SPAIN :
EPSON IBERICA, S.A.
Avda. Roma 18-26,
08290 Cerdanyola del Vallès,
Barcelona, SPAIN
Centro At. al Cliente: 902.404142
E-mail: soporte@epson.es
Web Address:
http://www.epson.es

SWEDEN :
Tech. Help Desk: 08 445 1258

SWITZERLAND :
EXCOM Service AG
Moosacher Str. 6
CH-8820 Wädenswil
Tel: 01.7822111
Fax: 01.7822349
Web Address:
http://www.excom.ch

TURKEY :
Romar Pazarlama Sanayi ve TIC. A.S.
Rihtim Cad. No. 201
Tahir Han
TR-Karaköy-Istanbul
Tel: 0090.212.2520809
Fax: 0090.212.2580804

UNITED KINGDOM :
EPSON (UK) Ltd.
Campus 100, Maylands Avenue
Hemel Hempstead,
Herts, HP2 7TJ
Tech. Help Desk: 0990 133640
Web Address:
http://www.epson.co.uk

YUGOSLAVIA :
BS Procesor d.o.o.
Hadzi Nikole Zivkovica 2
11000 Beograd
Tel: 00381.11.639610
Fax: 00381.11.639610

<NORTH, CENTRALAMERICA &CARIBBEANI ISLANDS>

CANADA :
Epson Canada, Ltd.
100 Mural Street, Suite 300
Richmond Hill, Ontario
CANADA L4B IJ3
Tel: 905-709-3839
Web Address:
http://www.epson.com

COSTA RICA :
Epson Costa Rica, S.A.
Embajada Americana,
200 Sur y 300 Oeste
San Jose, Costa Rica
Tel: (50 6) 296-6222
Web Address:
http://www.epsoncr.com

MEXICO :
Epson Mexico, S.A. de C.V.
AV. Sonora #150
Mexico, 06100, DF
Tel: (52 5) 328-4008
Web Address:
http://www.epson.com.mx

U. S. A. :
Epson America, Inc.
3840 Kilroy Airport Way
Long Beach, CA90806
Tel: (562) 276-4394
Web Address:
http://www.epson.com

<SOUTH AMERICA>

ARGENTINA :
Epson Argentina S.A.
Avenida Belgrano 964/970
(1192), Buenos Aires
Tel: (54 11) 4346-0300
Web Address:
http://www.epson.com.ar

BRAZIL :
Epson Do Brasil Ltda.
Av. Tucunare, 720
Tambore Barueri,
Sao Paulo, SP 06460-020
Tel: (55 11) 7295-1757
Web Address:
http://www.epson.com.br

CHILE :
Epson Chile S.A.
La Concepcion 322
Providencia, Santiago
Tel: (562) 236-2543
Web Address:
http://www.epson.cl

COLOMBIA :
Epson Colombia Ltda.
Diagonal 109, 15-49
Bogota, Colombia
Tel: (57 1) 523-5000
Web Address:
http://www.epson.com.co

PERU :
Epson Peru S.A.
Av. Del Parque Sur #400
San Isidro, Lima, Peru
Tel: (51 1) 224-2336
Web Address:
http://www.epson.com

VENEZUELA :
Epson Venezuela S.A.
Calle 4 con Calle 11-1
La Urbina Sur
Caracas, Venezuela
Tel: (58 2) 241-0433
Web Address:
http://www.epson.com.ve

<ASIA & OCEANIA>

AUSTRALIA :

EPSON AUSTRALIA PTY LIMITED
70 Gibbes Street Chatswood
NSW 2067 AUSTRALIA
Tel: 1300 361 054
Web Address:
http://www.epson.com.au

HONGKONG :

EPSON Technical Support Centre (Information Centre)
Rooms 4706-4710,
China Resources Building,
26 Harbour Road, Wan Chai,
HONG KONG
Tech. Hot Line: (852) 2585 4399
Fax: (852) 2827 4383
Web Address:
http://www.epson.com.hk

TAIWAN :

EPSON Taiwan Technology & Trading Ltd.
10F, No.287, Nanking East Road,
Section 3, Taipei, Taiwan, China
Tel: 02-2717-7360 ext. 327
Fax: 02-2713-2155
http://www.epson.com.tw

CHINA :

Beijing TOYOU OPTICS&ELECTRONICS CO.,LTD
Unit 301 Huazhong Building ,No.4
Zhongguancun nanlu,
Haidian,Beijing,China
Zip code: 100080
Tel: 086-10-6257 1633
Fax: 086-10-6264 5944

HongKong Rarestar Co.,LTD Beijing Office
Room 5338,Building 3, XIYUAN Hotel
No.1 Sanlihe Road,
Beijing,CHINA
ZIP code: 100044
Tel: 086-10-6830 3686/87/88
Fax: 086-10-6836 2341

Beijing PEONY Electronics Information Co.Ltd
5 Office Building,172 # Xizhimen Street,
Xicheng District, Beijing,China.
Zip code: 100035
Tel: 086-10-6612 0416
Fax: 086-10-6615 5430

Sunrise IT System Co.,Ltd
Room 3113, Everybright TTIC Bldg.,No.15
Bai shi qiao Road, Hai dian District, Beijing,China
Zip code: 100081
Tel: 086-10-6848 6898
Fax: 086-10-6848 6771

above 4 service centers are managed by EPSON (Beijing) Technology Service Co.,Ltd (EBTS)
Room 102, North. The Grand Pacific Garden
Mansion,8A Guanghua Road,
Chaoyang District,
Beijing, China
ZIP code: 100026
Tel: 086-10-6581 4301
Fax: 086-10-6581 4265
http://www.172.24.2.98

JAPAN :

SEIKO EPSON CORPORATION SHIMAUCHI PLANT
VD Customer Support Group:
4897 Shimauchi, Matsumoto-shi,
Nagano-ken, 390-8640 JAPAN
Tel: 0263-48-5438
Fax: 0263-48-5680
http://www.i-love-epson.co.jp

KOREA :

EPSON KOREA CO., LTD
17F HANSOL Bldg., 736-1,
Yaoksam-dong Kangnam-gu,
Seoul, 135-080, KOREA
Tel: 2-553-3515
Fax: 2-5584271
http://www.epson.co.kr

MALAYSIA :

EPSON TRADING (MALAYSIA) SDN. BHD.
No. 21 Jalan U 1/19, Seksyen U1,
Hicom-grenmarie Industrial
Park, 40150 Shan Alam,
Selangor Darul Ehsan
Tel: 03-5191366
Fax: 03-5191386

SINGAPORE :

EPSON SINGAPORE PTE. LTD.
401 Commonwealth Drive
#01-01 Haw Par Technocentre
SINGAPORE 149598
Tel: 4722822
Fax: 4726408

THAILAND :

EPSON (Thailand) Co., Ltd.
24th Floor, Empire Tower,
195 South Sathorn Road, Yannawa,
Sathorn, Bangkok 10120, Thailand
Tel: 6700680 Ext. 309, 316, 317
Fax: 6700688
http://www.epson.co.th

Epson Technical Center
21st Floor, Payathai Tower,
128/227 Payathai Road,
Rachataewee, Bangkok 10400,
Thailand
Tel: 6120291~3
Fax: 2165005
http://www.epson-tech.in.th

■ 索引

数字

A

B

C

D

E

F

H

K

L

M

P

R

S

T

ご注意

(1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは固くお断りいたします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
(4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソン及びエプソン指定の者(裏表紙参照)以外の第三者により、修理、変更されたこと等に起因して生じた損害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品、及びエプソン品質認定品以外のオプション品または消耗品を装着してトラブルが発生した場合には、責任を負いかねますのでご了承ください。
(7) 本書中のイラストと本体の形状は異なる場合があります。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

電源ケーブルは販売国の電源仕様に基づき同梱されています。本機を販売国以外で使用する際には、事前に使用する国の電源電圧や、コンセントの形状を確認し、その国に合った純正電源ケーブルをお買い求めください。

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

瞬低(瞬時電圧低下)基準について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお薦めします。

漏洩電流自主規制について

本装置は、社団法人電子情報技術産業協会(社団法人日本電子工業振興協会)のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

商標について

IBM, DOS/V, PS/2は、International Business Machines Corporationの商標または 登録商標です。
Macintoshは、Apple Computer Inc.の登録商標です。
Windows、Windows3.1、Windows95、Windows98、Windows 2000は米国マイクロソフト社の商標です。
EPSONはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
なお、各社の商標および製品商標に対しては特に注記のない場合でも、これを十分尊重いたします。

EPSON

●エプソン販売のホームページ「I Love EPSON」http://www.i-love-epson.co.jp

各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。

インターネット FAQ エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.i-love-epson.co.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター

修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

0570ー004141（全国ナビダイヤル）　【受付時間】9:00～17:30　月～金曜日（祝日・弊社指定休日を除く）

*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(042) 582-6888までお電話ください。
*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●修理品送付・持ち込み・ドア toドアサービス依頼先

お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	ドア toドアサービス受付電話	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス㈱	同 右	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563エプソンサービス㈱	0263-86-9995 ドア to ドア専用受付電話 365日受付可	0263-86-7660
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス㈱		042-584-8070
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス㈱	同 右	092-622-8922
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス㈱	同 右	098-852-1420

*「ドア toドアサービス」は修理品の引き上げからお届けまで、ご指定の場所に伺う有償サービスです。お問い合わせ・お申込は、上記修理センターへご連絡ください。
*予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。【受付時間】月曜日～金曜日　9:00～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
*修理について詳しくは、ホームページアドレスhttp://www.epson-service.co.jpでご確認ください。

●プロジェクターインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

0570ー004110（ナビダイヤル）※【受付時間】月～金曜日9:00～20:00　土曜日10:00～17:00（祝日・弊社指定休日を除く）
*ナビダイヤルはNTTコミュニケーションズ㈱の電話サービスの名称です。
*携帯電話・PHS端末・CATVからはご利用いただけませんので、(0263) 54-5800までお電話ください。
*新電電各社をご利用の場合、「0570」をナビダイヤルとして正しく認識しない場合があります。ナビダイヤルが使用できるよう、ご契約の新電電会社へご依頼ください。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。

札幌(011)221ー7911　東京(042)585ー8500　名古屋(052)202ー9532　大阪(06)6397ー4359　福岡(092)452ー3305

●ショールーム　*詳細はホームページでもご確認いただけます。

エプソンスクエア新宿　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047 大阪市中央区淡路町3-6-3 NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日～金曜日　9:30～17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.i-love-epson.co.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス

各種ドライバの最新バージョンを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

●消耗品のご購入

お近くのEPSON商品取扱店及びエプソンOAサプライ株式会社　フリーダイヤル0120ー251528　でお買い求めください。

エプソン販売 株式会社　〒160-8324 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビル24階

セイコーエプソン株式会社　〒392-8502 長野県諏訪市大和3-3-5

82202002

この取扱説明書は100%再生紙を使用しています。

環境にやさしい大豆油インキを使用しています。

Printed in Japan
02.03-.3A(C01)

402118202
(9000639)